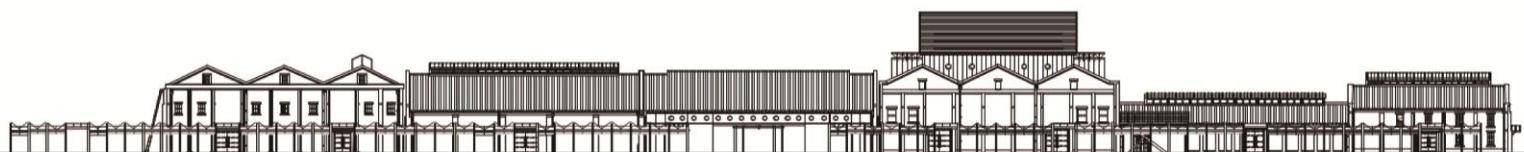


金沢市民芸術村 リニューアル基本構想（案）

～ 市民が主役であり続ける、さらなる文化芸術活動の拠点へ～



令和8年2月

金沢市民芸術村リニューアル基本構想検討委員会

目 次

本 編

第1章. 金沢市民芸術村の現状と課題	- 1 -
第1節. 金沢市民芸術村の概要	- 1 -
第2節. 現況と課題の整理及び検討の視点	- 7 -
第2章. 基本構想策定の趣旨	- 8 -
第1節. 構想策定の背景・目的	- 8 -
第2節. 本構想の位置づけ	- 9 -
第3章. リニューアルに向けた基本的な考え方	- 11 -
第1節. 基本構想の体系	- 11 -
第2節. 基本理念	- 12 -
第3節. 目指す姿	- 13 -
第4節. 施設の核となる機能	- 14 -
第4章. 既存施設の大規模な修繕・改修の考え方	- 15 -
第1節. 基本方針	- 15 -
第2節. 建築、設備に係る修繕・改修の方向性	- 15 -
第3節. バリアフリー対応に係る修繕・改修の方向性	- 16 -
第5章. 新施設の整備の考え方	- 17 -
第1節. 基本方針	- 17 -
第2節. 新施設における整備の方向性、備えるべき機能	- 17 -
第3節. 施設配置と整備規模	- 18 -
第6章. 今後の検課題・留意点	- 21 -

資料編

資料-1. 検討経緯	資 - 1
資料-2. 施設の概要（個別施設の概要・建物構造、運営・管理）	資 - 2
資料-3. 各施設の利用状況、老朽化・劣化状況	資 - 8
資料-4. 市民、管理者、市民ディレクターからの要望・課題	資 -17
資料-5. 主な現況・要望の整理（一覧表）	資 -22

第1章. 金沢市民芸術村の現状と課題

第1節. 金沢市民芸術村の概要

金沢市民芸術村の沿革、周辺環境、施設の概要等は以下の通りである。

1. 沿革

主な施設整備、受賞は以下に示す通りである。

<主な施設整備・受賞年表>

年	出来事（施設整備、受賞）
1919年 (大正8年)	金沢紡績株式会社 工場竣工
1923~1927年 (大正12年 ~昭和2年)	現在の各工房の元になった倉庫群を建設
1993年 (平成5年)	大和紡績株式会社金沢工場の操業を停止
1994年 (平成6年)	大和紡績株式会社金沢工場跡地取得
1996年 (平成8年)	金沢市民芸術村の開村 ・倉庫群（計7棟）及び管理棟を改修 ・機械室とコロネードを新設 ・里山の家を移築
1997年 (平成9年)	グッド・デザイン大賞 受賞
1999年 (平成11年)	日本建築学会作品選奨 受賞
2001年 (平成13年)	パフォーミングスクエアを新設
2006年 (平成18年)	公立文化施設の顕彰制度 JAFRA アワード（総務大臣賞） 受賞
2011年 (平成23年)	事務所棟の耐震補強工事を実施
2022年 (令和4年)	日本建築家協会・JIA25年賞 受賞

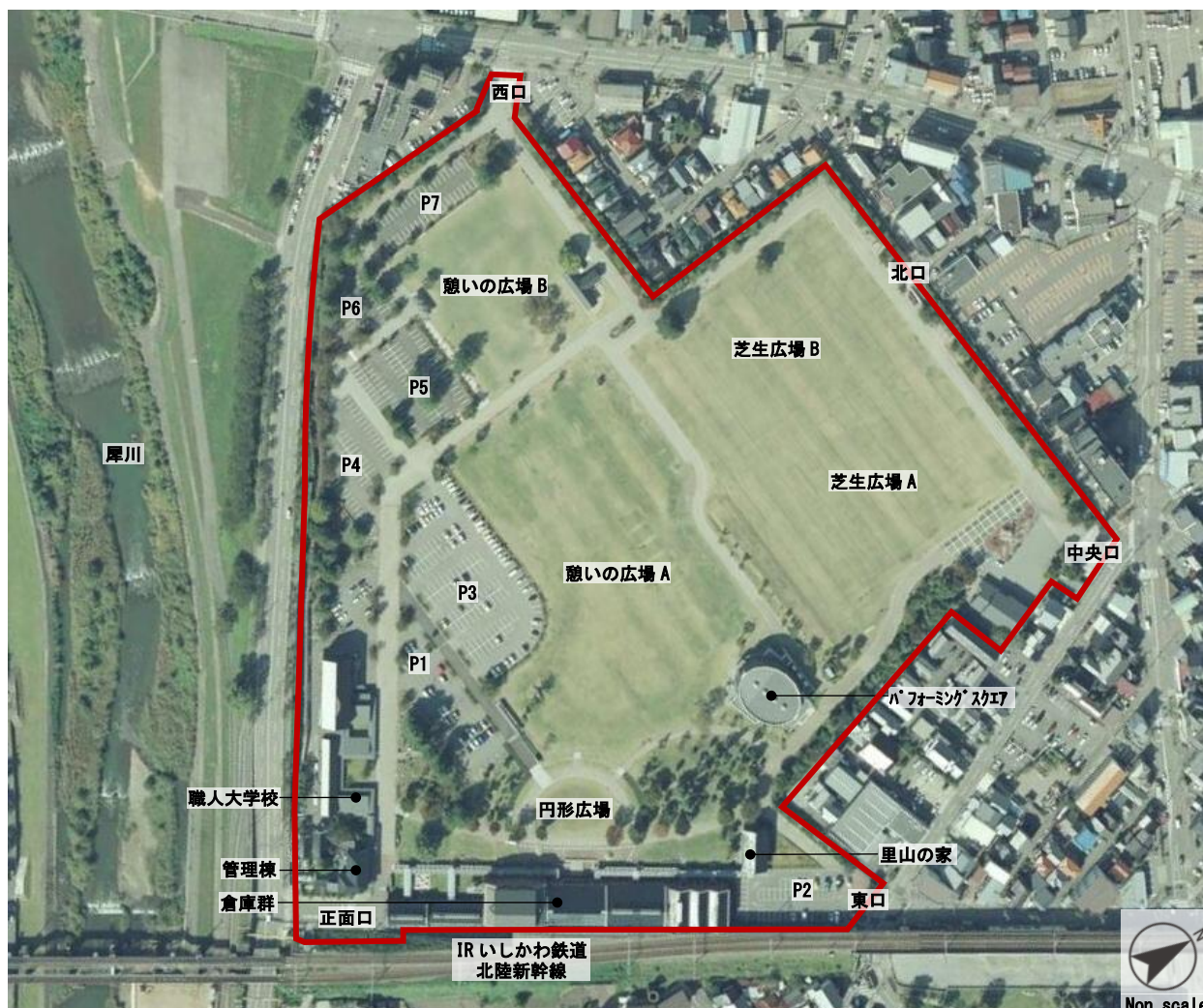
2. 周辺環境

金沢市民芸術村の西側（西口周辺）、北側（北口周辺）、北東側（中央口、東口周辺）はマンション・アパートや民家、民間企業の事業所などが隣接している。また、東側は鉄道（北陸新幹線、IR いしかわ鉄道線）が隣接している。南側は市道（1級幹線97号長土堀・大豆田線）の奥に犀川が位置している。

敷地内の一部エリアは、防災広場用地に指定されている。敷地内は東側から南側にかけての倉庫群と里山の家、南側に管理棟と職人大学校、北東側にパフォーミングスクエアが位置する。

敷地の出入口は、南側（1：正面口）、西側（2：西口）、北側（3：北口）、北東側（4：中央口）、東側（5：東口）の計5箇所ある。駐車場は東側に1箇所（P2）、南側から西側にかけて6箇所（P1、3～6）の計7箇所ある。敷地の中央から西側、北側にかけては大和町広場として芝生の緑地が広がっている。

<周辺環境>



出典：「空中写真_2007/10/24 撮影、縮尺 1/10,000」（国土地理院ウェブサイト (<https://www.gsi.go.jp/>)) をもとに金沢市作成

<敷地内環境（西側より）>



<敷地内環境（各施設の全景）>



3. 敷地の法規制等

敷地の法規制等に関連する主な内容は、以下の通りである。

<敷地の法規制等に関する主な内容の一覧表>

区分	項目	内容	
都市計画・建築関係	計画区域・用途地域	区域区分・用途地域	市街化区域 / 準工業地域
	建蔽・容積率	建ぺい率・容積率	建蔽率：60%、容積率：200%
	防火・準防火地域・22条区域		22条区域指定あり
	多雪区域（垂直積雪量）		1.2m以上
	高度地区		20m高度地区
	集約都市関係区域		居住誘導区域
	特別用途地区		大規模集客施設制限地区
	その他 （駐車場整備地区、臨港地区、緑地保全区域、高度利用地区、土地区画整理事業、その他都市施設、地区計画/協定区域）		指定なし
景観政策関係	景観法	景観計画区域	伝統環境保存区域
		伝統環境保存区域	伝統的街並み区域（長土堀2・3丁目周辺地区）
		伝統環境調和区域	指定なし
		近代的都市景観創出区域	
		重要広域幹線景観形成区域	
	屋外広告物条例	屋外広告物（禁止地域等）	第3種、第6種禁止地域
		特定屋内広告物届出地区	特定屋内広告物届出地区
		広告物活用地区	指定なし
		景観保全型広告整備地区	
		独立広告物調整地区	
		禁止物件のある地域	
		禁止展望地域	
	夜間景観形成条例	照明環境形成地域	生活産業地域
夜間景観形成区域		歴史的景観保全区域	
その他 （沿道景観形成条例、保全用水、重要文化的景観区域、眺望景観形成区域、風致地区条例、川筋景観保全区域、斜面緑地保全区域、こまちなみ保存区域、寺社風景保全区域、伝統的建造物群保存地区、景観地区）		指定なし	
防災関係	洪水浸水想定区域（区域の対象河川 / 想定最大規模）	犀川 / 0.5m以上 3.0m未満	
	緊急輸送道路	第2次緊急輸送道路	
	液化化危険度	高い	
	避難所	指定あり（指定避難場所）	
	防災設備	水防災倉庫・備蓄倉庫、同法防災無線	
	ため池決壊による浸水想定区域	指定なし	
	土砂災害警戒区域	指定なし	
	砂防三法 （急傾斜地崩壊危険区域、地すべり防止区域、砂防指定地）	指定なし	
	盛土規制法規制区域	宅地造成等工事規制区域	
	津波災害警戒区域	指定なし	
	家屋倒壊等氾濫想定区域	河岸浸食（金沢職人大学校付近のみ）	
他	周知の埋蔵文化財包蔵地	犀川鉄橋遺跡	
	金澤町家保全活用推進区域	指定あり	

4. 施設の概要

金沢市民芸術村の施設概要については、以下の通りである。

(1) 施設全体の概要

区分	内容
所在地	金沢市大和町1番1号
敷地面積	約 97,000 m ²
施設の延床面積	約 5,428.86 m ²
広場	計：約 40,810 m ² 芝生広場：18,000 m ² (160m×114m) ※A B面分割使用可 憩いの広場 A：16,000 m ² (うちヘリポート 1,080 m ²) 憩いの広場 B：5,460 m ² 円形広場：1,350 m ² (直径 52m、半円形)
施設運営者	公益財団法人 金沢芸術創造財団
利用時間	全日 24 時間、年中無休 (保守点検日、工事日などを除く) ※16 歳未満は 9：00～18：00、16 歳以上 18 歳未満は 7：00～22：00 まで 保護者同伴の場合は 4：00～23：00 まで利用可能
利用方法	予約制
利用条件	・利用者登録が必要 ・芸術活動の練習と成果発表のための活動について使用可能 ※芸術以外の活動や営利を目的とする内容では使用できない
駐車場 駐輪場	・駐車場 (計 7 箇所)：446 台 (うち、障害者等用駐車場 5 台) 【駐車場台数の内訳】 P1：50 台 (うち、障害者等用駐車場 4 台)、P2：52 台 (搬入用駐車場)、 P3：158 台 (うち、障害者等用駐車場 1 台)、P4：42 台、P5：70 台、P6：31 台、 P7：43 台 ・駐輪場：約 50 台
交通アクセス	・金沢駅又は片町交差点から徒歩約 20 分 ・最寄りバス停 (大豆田) 下車して徒歩約 5 分 ・北陸自動車道 (金沢西 IC) から車で約 10 分

※延床面積は、金沢職人大学校 (延 2271.31 m²) の面積を含まない

※区分貸しは、深夜 (0：00～6：00)、午前 (6：00～12：00)、午後 (12：00～18：00)、
夜間 (18：00～24：00) の 4 区分

※レストランの定休日及び営業時間は異なる

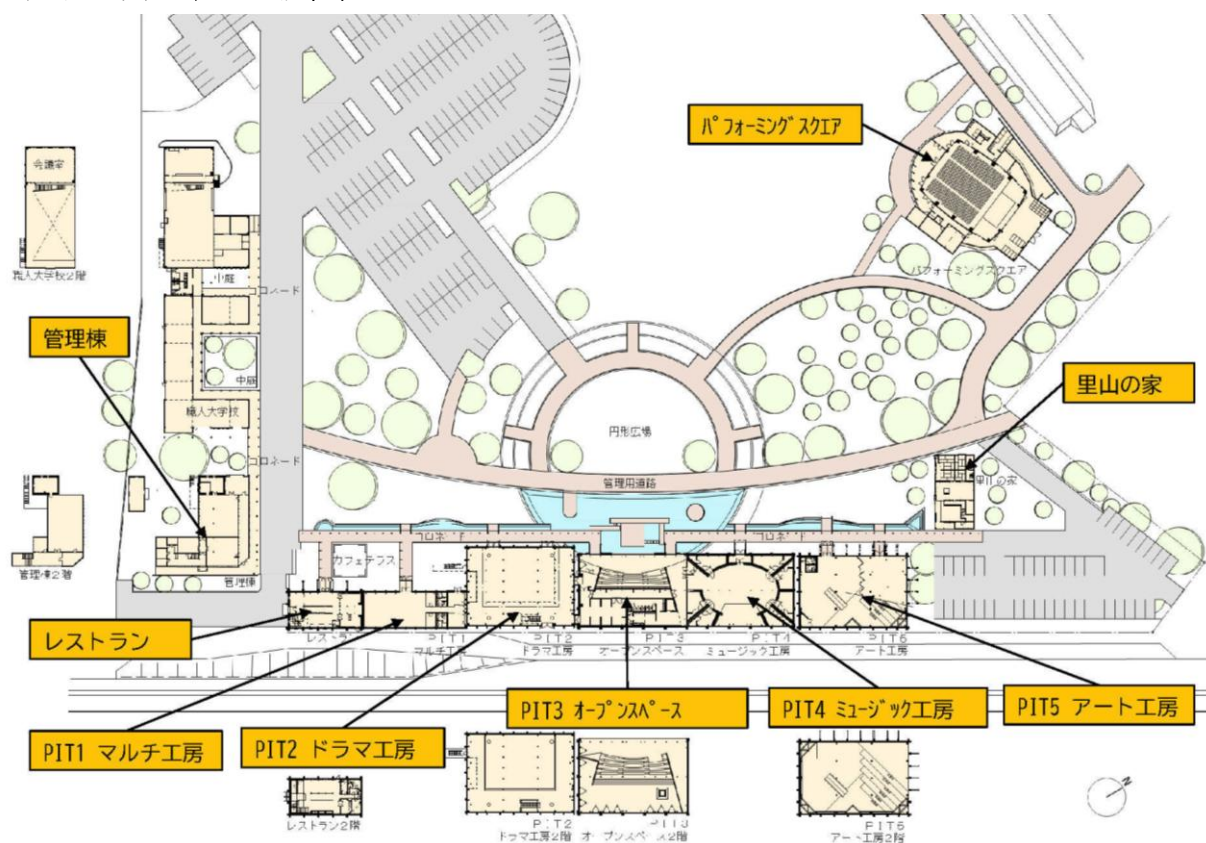
(2) 個別施設の概要

本構想の対象となる個別施設（9棟+コロネード：合計10棟）の概要は以下の通りである。

<本構想対象の個別施設一覧表>

No.	施設名	竣工→開村年	構造	延床面積	用途	改修工事の概要
1	PIT1 マルチ工房 (旧：第2・3倉庫)	大正8年(1919年) →平成8年(1996年)	木造/外壁レンガ+RC造 平屋	253.27㎡	作業場	・モルタルを剥がし、レンガ壁を活かす ・屋根は瓦を新調 ・採光・排煙のために金属板の越屋根を付加
2	PIT2 ドラマ工房 (旧：第4倉庫)	大正15年(1926年) →平成8年(1996年)	鉄骨造/外壁RC造 2階建	842.27㎡	演劇練習場	・外壁は吹付塗装、屋根は用途に合わせて新設 ・舞台設備の充実、木造小屋の上に機構スノコを設置、鉄骨造の屋根架構を追加 ・屋根は金属板、一部壁はセメント板に吹付塗装
3	PIT3 オープンスペース (旧：第5倉庫)	大正8年(1919年) →平成8年(1996年)	木造一部RC造/外壁レンガ造 2階建	771.45㎡	休憩所	・施設全体の休憩スペースとして、正面を開放 ・モルタルを剥がし、レンガ壁を活かす ・JR線路側は列車から内部の様子が見えるガラス屋根を設置、グラウンド側は瓦を葺き替え
4	PIT4 ミュージック工房 (第6倉庫)	大正8年(1919年) →平成8年(1996年)	木造一部RC造/外壁レンガ造 平屋	497.68㎡	音楽練習場	・モルタルを剥がし、レンガ壁を活かす ・屋根は瓦を葺き替え ・採光・排煙のために金属板の越屋根を付加
5	PIT5 アート工房 (旧：第7倉庫)	昭和4年(1929年) →平成8年(1996年)	木造一部鉄骨造/外壁RC造 2階建	685.80㎡	作業場	・外壁は吹付塗装、屋根は瓦を葺き替え ・1ヶ所トップライトを設置 ・外部にも補強鉄骨を設置
6	レストラン (旧：第1倉庫)	大正8年(1919年) →平成8年(1996年)	木造/外壁RC造 2階建	317.90㎡	レストラン (特殊建築物)	・外壁はレンガタイル張り、窓を設け雰囲気向上 ・瓦屋根を新設 ・採光及び排煙部分として金属板の越屋根を付加
7	里山の家	平成8年(1996年)	木造 2階建	301.51㎡	練習場 作業場	-
8	パフォーマンス スクエア	平成13年(2001年)	SRC造 平屋	874.33㎡	練習場	-
9	管理棟	昭和4年(1929年) →平成8年(1996年)	木造一部RC造 2階建	584.01㎡	管理棟	・外壁はリシン吹き直し ・屋根は瓦を全て黒瓦に葺き替え ・鉄板屋根も葺き替え
	機械室、その他	-	RC造、平屋	33.20㎡	機械室	-
10	コロネード	平成8年(1996年)	鉄骨造 (屋根：コルテン鋼プレバレン処理)	267.44㎡	渡り廊下	-

<本構想対象の個別施設位置>



第2節. 現況と課題の整理及び検討の視点

金沢市民芸術村の施設状況や周辺環境を踏まえ、本構想の策定における検討の視点を設定し、主な課題と対応の方向性を以下の通り整理する。

視点	主な課題	対応の方向性
<p>既存施設の 利便性・ 機能性の 向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各施設の経年劣化への対応 設備機器等が古く、更新が必要 車椅子利用など、バリアフリーへの更なる対応 	<ul style="list-style-type: none"> 施設（建築物・設備）の機能維持や長寿命化 施設における利便性の向上や安全性の確保
<p>新施設に 求められる 機能</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術活動における、次代の担い手、支え手の育成 音楽、ダンス等の練習施設の不足解消 中学校文化部活動の地域展開など、社会情勢の変化への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが文化芸術に親しむ機会の創出 音楽、演劇、ダンス等の文化芸術活動の練習場所の拡充 誰もが利用しやすく、使用しやすい施設に向けた整備

第2章. 基本構想策定の趣旨

第1節. 構想策定の背景・目的

金沢市民芸術村は、旧大和紡績倉庫群の魅力を利活用し改修された、年中無休・24時間・低料金で利用できる芸術活動を行うための施設であり、年間およそ20万人が利用する地域の文化発信・交流拠点である。また、公立文化施設の中で全国初の「市民ディレクター制度」を導入しており、専門家である各ディレクターが主催事業（アクションプラン）の企画・立案などに取り組み、「市民が主役」となる施設運営を行っている。

約10haに及ぶ緑あふれる広大な敷地内には、吹抜けの高い天井や赤レンガの壁面が特徴的な「旧大和紡績倉庫群の建物」、大人数の芸術活動をサポートする「パフォーミングスクエア」、古い農家を移築した「里山の家」、金沢の伝統技術を養成するための「金沢職人大学校」、市民の憩いの広場となる「大和町広場」などがある。

金沢市民芸術村は平成8年の開村から30年（建築当初から概ね100年）を経過しており、施設・設備の老朽化が著しく、施設の機能維持や長寿命化などが求められている。また、市民の意識・行動様式の多様化、バリアフリーへの対応、デジタル技術の普及、ダンス人口（ダンスに触れる機会）の増加、中学校文化部活動の地域展開など、施設を取り巻く社会状況は様々な変化しており、市民・利用者や時代のニーズに応じた整備も必要となっている。

そのため、市民が気軽に文化芸術に触れる機会の提供や、市民自らが多彩な創作活動に打ち込むことができる「文化芸術活動の拠点としての機能向上」とともに、「次代を担う子どもや若人たちが文化芸術に親しむことができる新たな施設の整備」を目的に、本構想を策定する。

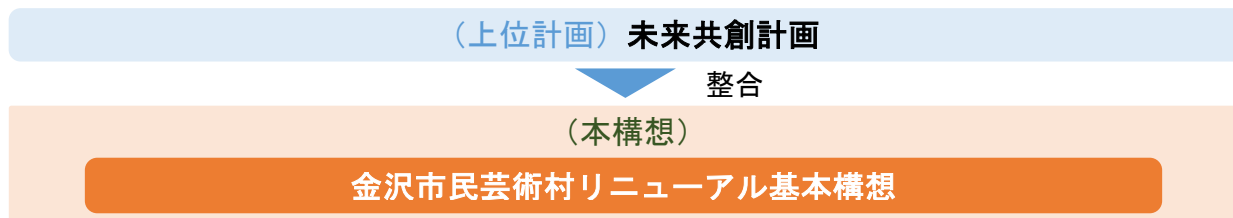


第2節. 本構想の位置づけ

1. 上位計画との連携

本構想は、市政運営の最上位計画である「未来共創計画」に基づき策定する。本構想の位置づけ及び検討する上で整合を図るべき上位計画の事項は以下の通りである。

<本構想の位置づけ>



<上位計画>

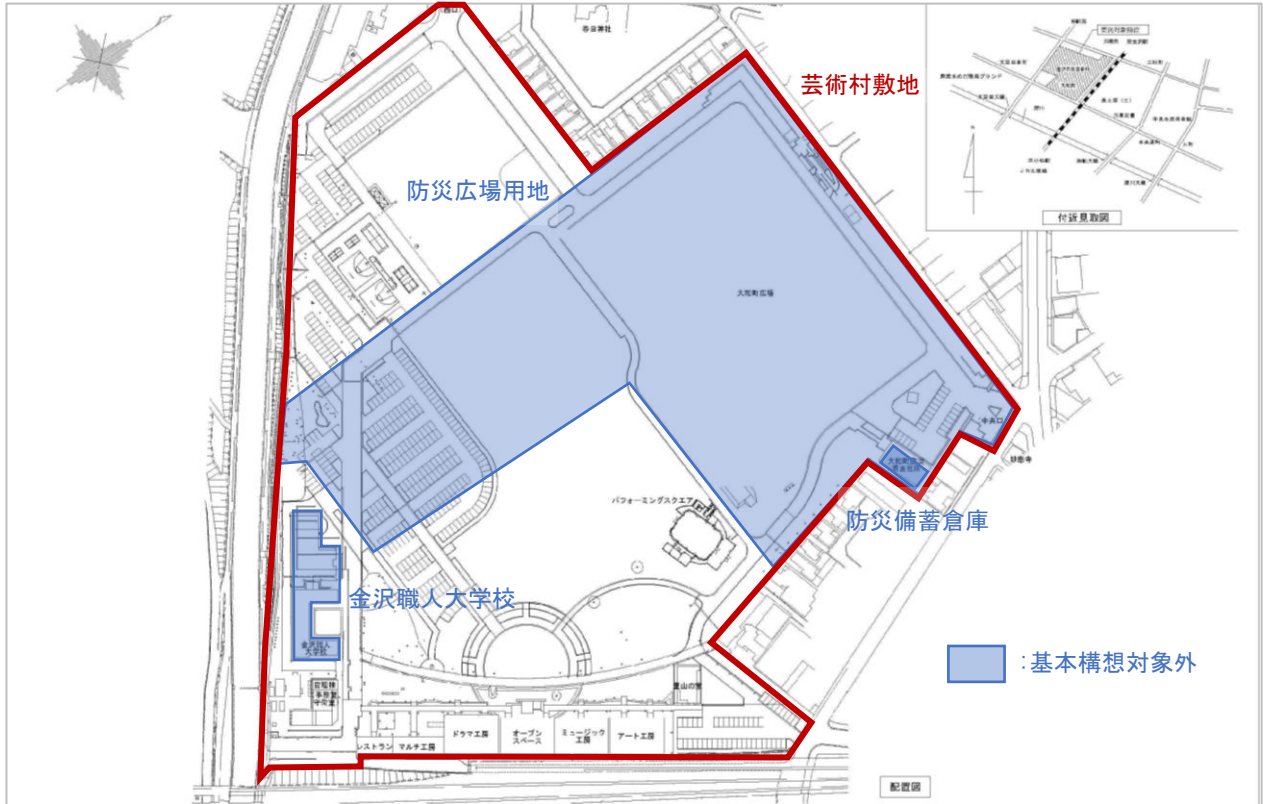
計画名	未来共創計画		
策定年月	令和6年(2024年)2月	計画期間	2024~2033年度(10年間)
本計画と関連する内容(計画より該当部分を抜粋)			
基本方針 施策	<p>■ 基本方針1 - 施策方針1: 誰もが文化芸術に親しむことができる環境の充実</p> <p>◆ 取組の方向性1: 文化芸術に触れる機会の充実</p> <p>・ 伝統文化や音楽、アートなど、多彩な文化芸術プログラムや幼少期からの継続的な文化芸術体験の提供などを通して、<u>より身近に文化芸術に触れる機会の充実を図ります。</u></p> <p>● 主要施策: 子どもの文化芸術体験の機会充実</p> <p>・ <u>子どもが気軽に文化芸術を体験できる機会の提供や、伝統文化の子ども塾の開講により、音楽や伝統文化への理解や関心を高めるとともに、将来の担い手の確保・育成を図ります。</u></p> <p>◆ 取組の方向性4: 文化芸術・スポーツの活動基盤の整備と利用促進</p> <p>・ <u>文化芸術・スポーツの活動基盤となる施設の整備を推進するとともに、魅力の向上とイベント等を充実し、施設の利用を促進します。</u></p> <p>● 主要施策: 金沢市民芸術村のリニューアル</p> <p>・ 市民とともに多様な文化芸術活動を支えてきた金沢市民芸術村を<u>次世代に継承していくため、施設のリニューアルに取り組みます。</u></p>		
本構想を検討する上で整合を図るべき事項			
<p>・ より身近に文化芸術に触れる機会の充実、子どもが気軽に文化芸術を体験できる機会の提供</p> <p>・ 次世代に継承していくため、施設のリニューアル</p>			

2. 本構想の対象範囲

本構想では、金沢市民芸術村の敷地内を対象範囲とする。

ただし、金沢職人大学校や防災備蓄倉庫等、一部は基本構想対象外とする。

<基本構想の対象範囲>



全景（敷地西側より撮影）



金沢職人大学校



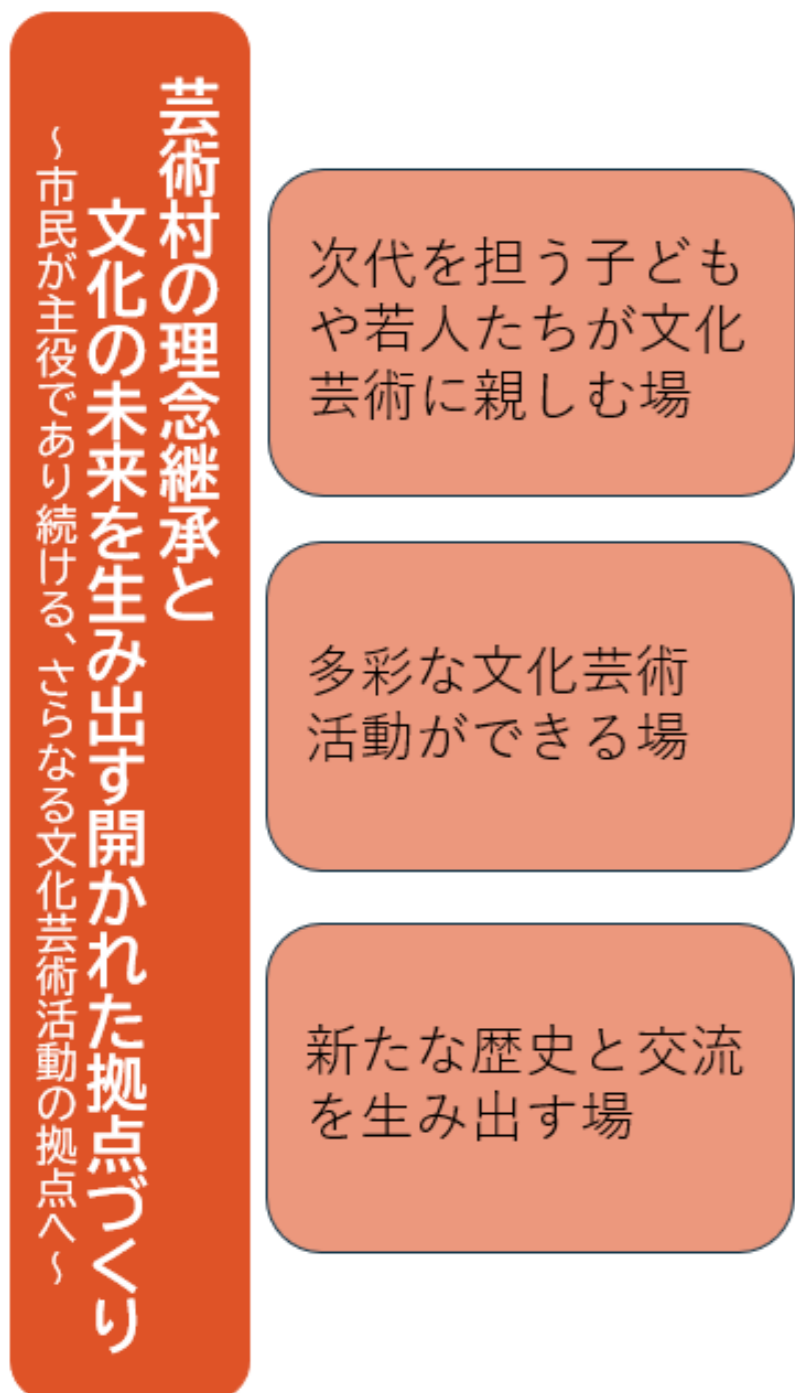
防災備蓄倉庫

第3章. リニューアルに向けた基本的な考え方

第1節. 基本構想の体系

基本構想の体系として、以降に整理する内容をまとめた全体像を示す。

【基本理念】 【目指す姿】



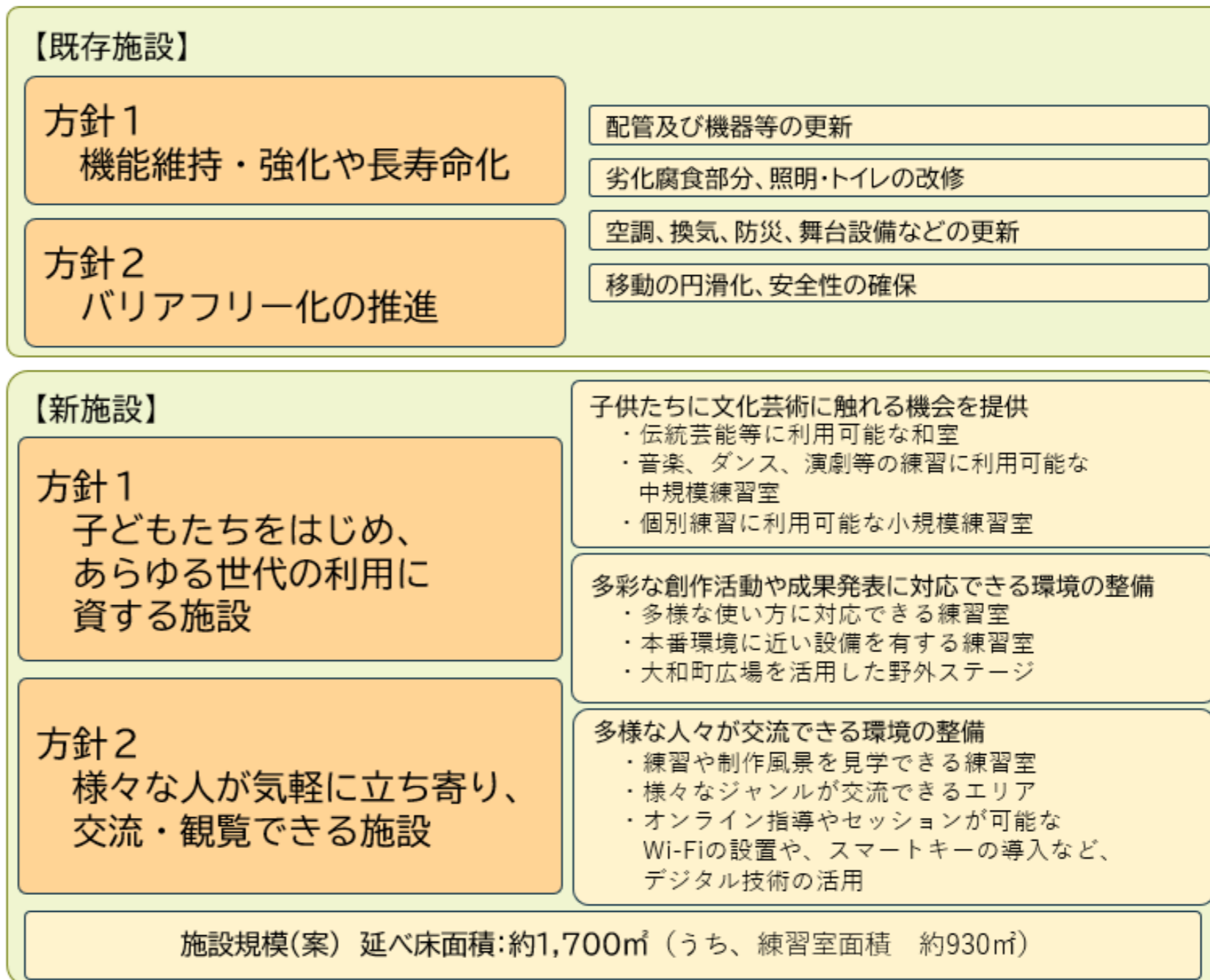
【機能】

練習

発表

交流

【リニューアル概要:方針/整備案】



第2節. 基本理念

これまで地域の文化発信・交流拠点として市民に愛されてきた金沢市民芸術村は、紡績工場跡地に残されていた倉庫群を改修・再利用して整備された施設である。そのため、他の施設とは違い各工房内は大小さまざまな空間・部屋で形成されており、その設えも独特でありクリエイティブな空間の面白さがある。

また、紡績工場である倉庫群の意匠や魅力を残し、「地域の文化（次代を担う若者たちの文化活動の育成を図り、市民の多様な創作活動を支え、個性豊かな地域の文化芸術を醸成してきた金沢のDNA）を紡ぐための場所」として整備された工房への想いや、市民ディレクター制度を採用し年中無休・24時間・自主管理方式を続けてきた「金沢市独自の運営方法」である文化などは、開村当時からこれまでに築き上げてきた大切なものであり、これらの施設の役割、位置づけ、運営方法などの理念は継承していくべきものである。

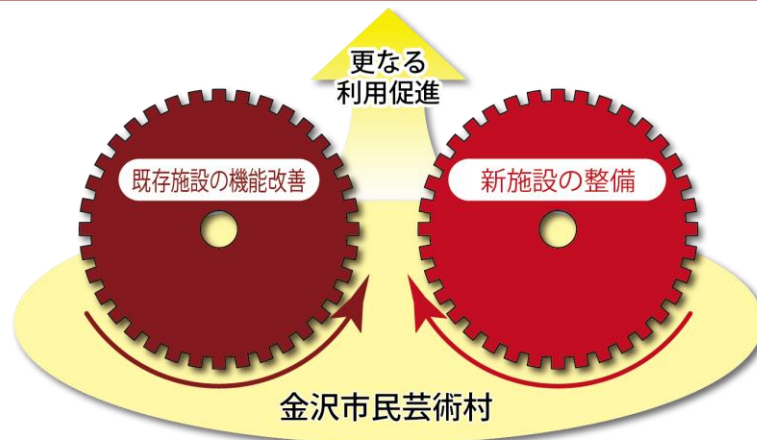
しかし、金沢市民芸術村を取り巻く環境は年々変化しており、それに伴い施設に求められる機能や利用目的・形態も複雑・多様化している。そのため、金沢市民芸術村も使用者の生活・目的に応じて変化し、機能向上を図る必要がある。

これらの考えを踏まえ、『既存施設の機能改善（利便性・機能向上や長寿命化など）』とあわせ、『新たな施設（新施設）を整備』することで、更なる利用促進、文化芸術に触れる機会の創出などに繋げる。

そして、文化芸術の担い手・支え手を育成することや、より広く市民が活用することなどを目指し、施設の機能維持や保存、本市の文化芸術の継承、多様な人々との交流、新たなニーズや要素などを紡ぐことで、芸術村の理念継承と文化の未来を生み出す開かれた拠点づくりに取り組む。

【基本理念】

芸術村の理念継承と文化の未来を生み出す開かれた拠点づくり
～ 市民が主役であり続ける、さらなる文化芸術活動の拠点へ ～



第3節. 目指す姿

リニューアル事業を通して目指す姿（整備）を以下の通り設定する。

◆ 目指す姿1：次代を担う子どもや若人たちが文化芸術に親しむ場

- ・建築的な価値が高くこれまで多様な文化芸術活動を支えてきた既存施設については、適切な機能改善を行い次代に継承する。
- ・文化芸術の担い手・支え手の育成とともに、将来的な部活動の地域展開も見据え、次代を担う子どもや若人たちが文化芸術に触れる・親しむ機会を提供する。

◆ 目指す姿2：多彩な文化芸術活動ができる場

- ・時代と共に変化する市民・利用者のニーズに対応しつつ、多様な利用用途にも柔軟に対応できる空間づくりに努め、更なる文化芸術活動の質の向上、利便性を高めるための環境整備などに取り組むことで、心の豊かさを醸成する。
- ・金沢市民芸術村で活動されている文化芸術の練習や発表などの風景を「見える・見せる」ことで、新たな交流が生まれることや、様々な人が気軽に文化芸術に触れることができる機会を創出する。

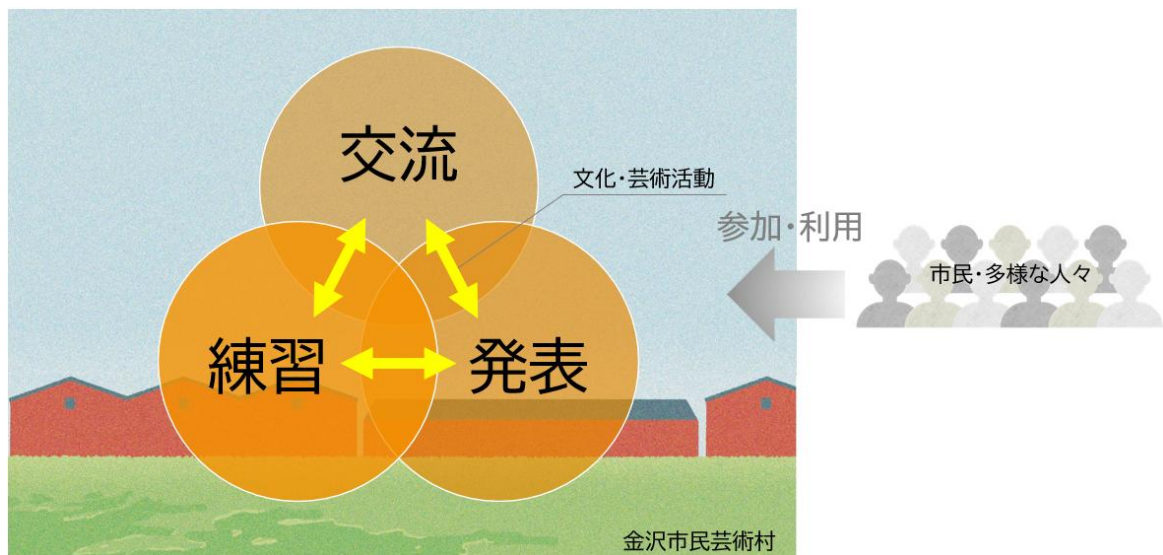
◆ 目指す姿3：新たな歴史と交流を生み出す場

- ・快適性の高い空間且つ誰もが利用しやすいバリアフリーデザインに対応した環境を整えることで、利用者しやすい活動の場を提供する。
- ・これまで本施設を利用したことがない利用者の参画、新たな分野に出会える取り組みや新しいものを創造する機会を提供し、金沢市の文化芸術活動の振興・発展や、新たな文化発信、世代を超えた利用者同士や他分野との交流に寄与する。
- ・デジタル技術や ICT 等を活用した情報交流により、リアルタイムに他地域との連携を可能にすることで、新たな価値や魅力などを学び、交流できる環境を整える。

第4節. 施設の核となる機能

既存施設の核となる3つの機能を拡充するよう、リニューアルにおいて想定される活動(例)は以下の通りである。

機能	リニューアルにおいて想定される活動(例)
練習	・ 少人数で行う個別練習、個人練習、学生などが放課後に行う部活動、クラブ活動 ・ 本番環境に近い設備を使用した予行演習 など
発表	・ 小規模～大規模な発表会、気軽に立ち寄り行うことができるリサイタル ・ 大和町広場を活用した野外ステージでの発表 など
交流	・ 練習や発表などの風景を観覧(見える・見せる) ・ 気軽に文化芸術に触れることができる体験イベント・催事、多分野との交流 ・ デジタル技術やICT等を活用した情報交流、外部活動との連携 など



第4章. 既存施設の大規模な修繕・改修の考え方

第1節. 基本方針

第3章で示したリニューアルに向けた基本的な考え方（基本理念、目指す姿）を踏まえ、既存施設の大規模な修繕・改修の基本方針を以下の通りとする。

【基本方針】

方針1 機能の維持・強化や長寿命化など、既存施設の価値や魅力を継承する整備

方針2 バリアフリーに対応した誰もが利用しやすい環境の整備

第2節. 建築、設備に係る修繕・改修の方向性

建築、設備に係る修繕・改修の方向性を以下の通り設定する。

方針1

■ 建物の内部、外部における劣化腐食部分の改修

- ・ 内部改修は、床・壁・天井の内装材補修及び交換、白アリ被害部分の木部補修後、床材の張替など
- ・ 外部改修は、屋根板金、防水、樋の改修（雨漏り対策）、柱・外壁の補修及び塗装の更新、トップライトのガラス・パネル交換など

■ 照明、トイレの改修

- ・ 照明器具の性能向上（LED化など）
- ・ トイレの洋式化など

■ 設備の配管及び、機器等の更新

- ・ 配線器具（スイッチ・コンセント）、消火栓ポンプ、非常用発電機及び始動用蓄電池、給水・ガス・排水配管などの更新
- ・ 空調、換気、防災、舞台設備などの更新及び追加整備

第3節. バリアフリー対応に係る修繕・改修の方向性

バリアフリー対応に係る修繕・改修の方向性を以下の通り設定する。

方針2

■ 安全、安心な園路整備

- ・外構を滑りにくく起伏のない舗装に変更（通路、コロネード含む）
- ・歩車が交わる場所には歩道や横断歩道を整備し、安全なバリアフリー経路を確保

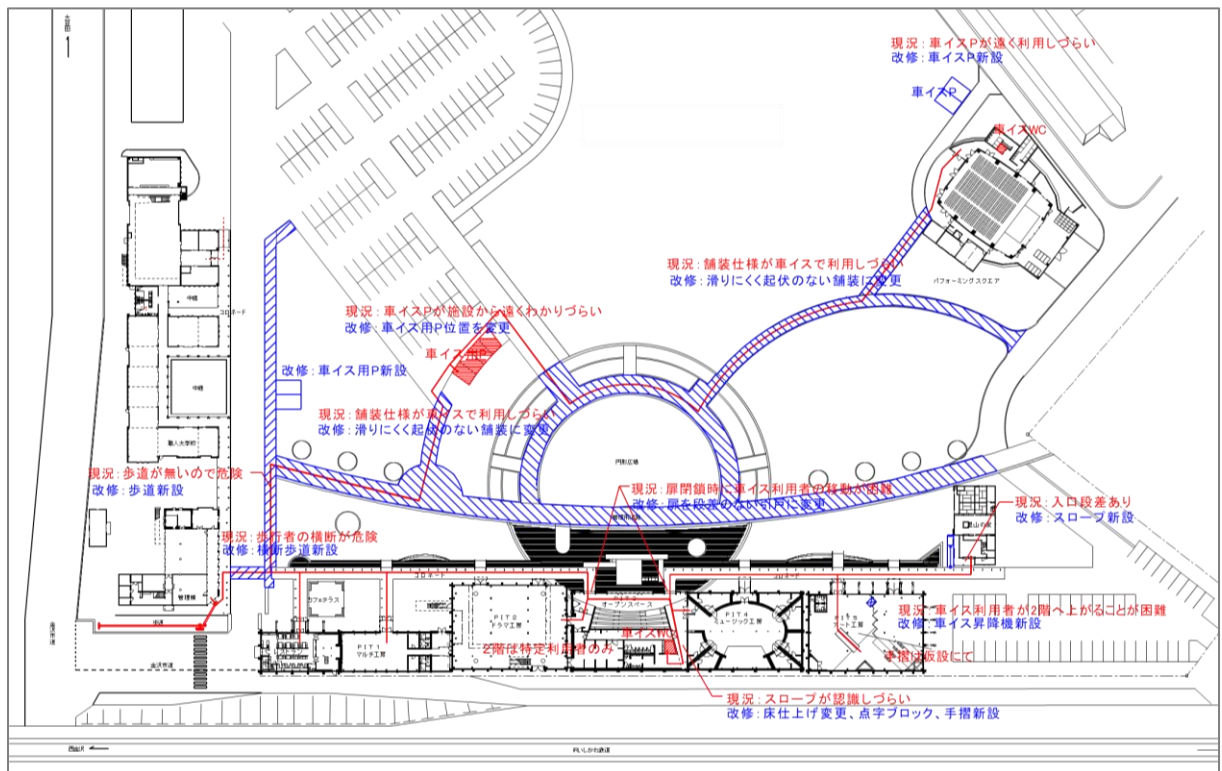
■ 車椅子利用者等が利用しやすい施設整備

- ・建物に隣接する車椅子使用者等用駐車スペースを新設
- ・オープンスペース等の引戸について、段差のない引戸に改修
- ・必要性、安全性を考慮して、段差解消機を設置（車椅子リフトなどの設置）

■ 移動の円滑化、安全性の確保

- ・視覚障害者誘導用ブロック、スロープ、手摺などを配置
- ・滑りにくい床材仕上げへの変更など

【想定する改修位置】



第5章. 新施設の整備の考え方

第1節. 基本方針

第3章で示したりニューアルに向けた基本的な考え方（基本理念、目指す姿）を踏まえ、新施設整備の基本方針を以下の通りとする。

【基本方針】

方針1 子どもたちをはじめ、あらゆる世代の利用に資する施設

方針2 様々な人が気軽に立ち寄り、交流・観覧できる施設

第2節. 新施設における整備の方向性、備えるべき機能

新施設における整備の方向性と備えるべき機能を以下の通り設定する。

方針1
方針2

■ 子供たちに文化芸術に触れる機会を提供

- ・ 金沢の伝統芸能やダンス、音楽、演劇等の練習場所を整備
- ・ 中学校文化部活動の地域展開を見据えた環境を整備

機能

- ・ 伝統芸能等に利用可能な和室
- ・ 音楽、ダンス、演劇等の練習に利用可能な中規模練習室
- ・ 個別練習に利用可能な小規模練習室

■ 多彩な創作活動や成果発表に対応できる環境の整備

- ・ 多様な利用形態に柔軟に対応可能な室内構造の設計
- ・ 音響などに優れた環境を整備
- ・ 野外向けステージなど、屋外広場等を活用できる環境を整備

機能

- ・ 多様な使い方に対応できる練習室（既存施設との役割分担）
- ・ 本番環境に近い設備を有する練習室
- ・ 大和町広場を活用した野外ステージ

■ 多様な人々が交流できる環境の整備

- ・ オープンスペースなど、気軽に交流できる環境を整備
- ・ 文化芸術の練習風景を気軽に見ることが出来る環境を整備（見せる・見せないの選択が可能な環境）

機能

- ・ 練習や制作風景を見学できる練習室
- ・ 様々なジャンルが交流できるエリア
- ・ オンライン指導やセッションが可能なWi-Fiの設置や、スマートキーの導入など、デジタル技術の活用

第3節. 施設配置と整備規模

新施設整備にあたり、施設配置と整備規模は以下の通りを想定する。

1. 施設配置

(1) 配置条件等

新施設整備における施設配置の条件や留意点を以下の通り整理する。

<配置条件・留意点>

◆ 配置条件

- ・敷地内の一部は防災広場用地に指定されているため、その指定エリア内に設置しない。
- ・敷地内の駐車場は現状不足気味であるため、現在の駐車場内に設置しない。

◆ 留意点

- ・敷地の西側に面する範囲は、マンションや民家等が隣接しており、近隣への騒音対策が必要となる。
- ・既存の施設である PIT、パフォーミングスクエア、里山の家、管理棟などに近接することで、施設間の相互利用を促進する。

(2) 整備位置

前記の配置条件・留意点を踏まえ、整備位置は以下の範囲内を設定する。

整備
位置

レンガ造の PIT とパフォーミングスクエアとの間に整備



出典：「空中写真_2007/10/24 撮影、縮尺 1/10,000」（国土地理院ウェブサイト（<https://www.gsi.go.jp/>））をもとに金沢市作成

2. 整備規模

(1) 整備規模の考え方

新施設の整備規模については、以下の考え方に基づき、「必要な練習室面積」と「施設の延べ床面積」を設定する。

<必要な練習室面積の考え方>

- 音楽（吹奏楽、合唱、JAZZ など）やダンス、演劇や子ども塾の練習など、多目的な利用ができるエリア

・現在の中学校文化部活動や、子ども塾で使用している練習室面積から、必要な面積を想定。下記表における合計面積：約 930 m²を必要な練習室面積と設定。

No	区分	練習室面積
1	吹奏楽部	<u>約 450 m²</u> 【内訳】全体練習：音楽室 約 130 m ² パート練習：約 40 m ² ×8 部屋
2	合唱部	<u>約 130 m² (音楽室)</u>
3	素囃子 子ども塾	約 330 m ² (教育プラザ富樫) 【内訳】 <u>全体練習：研修室 131 約 150 m²</u> パート練習：研修室 211 約 100 m ² スタジオ A：約 80 m ²
4	加賀宝生 子ども塾	<u>約 200 m² (金沢能楽美術館 3階研修室)</u>

- 人々が集まる空間、野外ステージ、様々な人が気軽に立ち寄れる場所、制作・練習風景を観覧できるエリア

・練習室以外の空間を活用するものとする。

<施設の延床面積の考え方>

STEP1 既存施設（練習施設）の延床面積の合計値を把握

・下記表の6施設における延床面積の合計値は、**約 3,400 m²**である。

No	区分	延床面積	建物の構造
1	PIT1 マルチ工房（第2・3倉庫）	約 250 m ²	木造・外壁レンガ+RC造
2	PIT2 ドラマ工房（第4倉庫）	約 850 m ²	鉄骨造・外壁RC造
3	PIT4 ミュージック工房（第6倉庫）	約 500 m ²	木造一部RC造・外壁レンガ造
4	PIT5 アート工房（第7倉庫）	約 700 m ²	木造一部鉄骨造・外壁RC造
5	パフォーミングスクエア	約 800 m ²	SRC造
6	里山の家	約 300 m ²	木造
合計		約 3,400 m²	

※各施設の延床面積は、一の位を四捨五入し、50 m²単位に丸めた数値としている

STEP2 既存施設（パフォーミングスクエア）の全体面積における練習場面積の比率を把握

・上記6施設において直近に新設された施設はパフォーミングスクエアであり、その施設の全体面積における練習場面積の比率を算出する。

パフォーミングスクエア ⇒ （延床面積：約 800 m²）（練習場面積：約 450 m²）

【計算式】練習場面積/延べ床面積＝約 450 m²/約 800 m²≒**約 55%**である。

STEP3 上記の面積比率と必要な練習室面積を用いて、施設の延床面積を算出

・前述で設定した新施設に必要な練習室面積（約 930 m²）に、パフォーミングスクエアの面積比率（練習場面積/延床面積）を除算することで、施設の延床面積を算出する。

約 1,700 m²を施設の延床面積と設定する。

【計算式】必要な練習場面積/面積比率＝約 930 m²/約 55%≒**約 1,700 m²**である。

(2) 整備規模

前記の整備規模の考え方を踏まえ、整備規模は以下の面積を設定する。

延べ床面積：約 1,700 m²
（うち練習室面積：約 930 m²）

新施設の整備により、
市民芸術村練習施設全体の延べ床面積が50%増加
 ⇒子どもから大人まで十分な練習環境を創出

※但し、建築費の高騰や財政環境の変化があった場合は、規模の縮小など柔軟に対応する。

第6章. 今後の検討課題・留意点

本構想の実現に向けた今後の検討（ハード整備）への与件として、課題や留意点を以下の通り整理する。

1. 既存施設の改修について

- 各施設の改修内容及び優先度を検討

2. 新施設の整備について

- 既存施設と調和した意匠や空間づくり等を検討
- 敷地内における緑化環境の保全に資する対応の検討
- 既存施設との役割分担を踏まえた各諸室の使い方を確認し、ゾーニングイメージと必要な機能（空調設備、備品等）を検討

3. リニューアル全体について

- 利用者に配慮した整備スケジュールを作成し、概算費用を算出
- 施設の効果的な運営方法を検討
- 金沢市民芸術村の歴史などの効果的な情報発信の検討

[Redacted text block]

資 料 編

[Redacted text block]

資料-1. 検討経緯

文化、芸術、建築等を専門とする有識者で構成される「金沢市民芸術村リニューアル基本構想検討委員会」を設置し、その検討委員会における審議を踏まえ本構想を策定した。

検討委員会の開催経過、委員名簿は以下の通りである。

1. 検討委員会の開催経過

日程	会議名等	内容
令和7年 7月1日	金沢市民芸術村 リニューアル基本構想 検討委員会 第1回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢市民芸術村について ・現状と課題 ・リニューアルの目的 ・リニューアルの方針 (既存施設の修繕、新施設の整備) ・論点・課題整理 ・他都市事例(練習施設等)
令和7年 11月5日	金沢市民芸術村 リニューアル基本構想 検討委員会 第2回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回会議の主な意見 ・市民アンケートの結果 ・金沢市民芸術村リニューアル 基本構想骨子(案) ・第2回会議における論点 ・今後のスケジュール
令和8年 1月26日	金沢市民芸術村 リニューアル基本構想 検討委員会 第3回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの主な意見 ・金沢市民芸術村リニューアル 基本構想(案)

2. 委員名簿(役職別、五十音順、敬称略)

※令和7年6月1日時点


役職	氏名	所属(団体・役職)
委員長	宮下 智裕	金沢工業大学 教授
委員	青木 千絵	金沢美術工芸大学 准教授
〃	大場 吉美	一般財団法人石川県美術文化協会 理事長
〃	木村 陽子	金沢素囃子子ども塾 運営委員長
〃	小中 寿一郎	一般社団法人石川県芸術文化協会 理事長
〃	新谷 美樹夫	NPO 法人 金沢 JAZZ 連盟 副理事長
〃	戸丸 彰子	朗読家
〃	直江 学美	金沢星稜大学 教授
〃	水野 一郎	金沢工業大学 名誉教授

資料-2. 施設の概要（個別施設の概要・建物構造、運営・管理）

金沢市民芸術村における個別施設の概要、運営・管理については、以下の通りである。

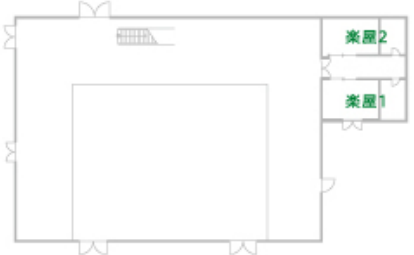
1. 個別施設の概要

(1) マルチ工房（PIT1）

概要	演劇、舞踊、音楽、美術など多様な創作活動が行える場所	【平面図】 
使用目的	練習、展示、創作、その他文化研修、成果発表	
床面積	148.34 m ²	
附属施設・設備	鏡、グランドピアノ、譜面台、展示版、机、流し台	




(2) ドラマ工房（PIT2）

概要	稽古や公演、演劇にかかわる活動の場として、地域演劇の拠点となっている場所	【平面図】 
使用目的	練習、制作、演劇研修、成果発表	
床面積	842.27 m ² (1F : 546 m ² 、2F : 296.27 m ²) 楽屋1 : 16.65 m ² 、楽屋2 : 16.65 m ²	
附属施設・設備	照明設備、音響設備、平台、箱足、トイレ、シャワールーム等	

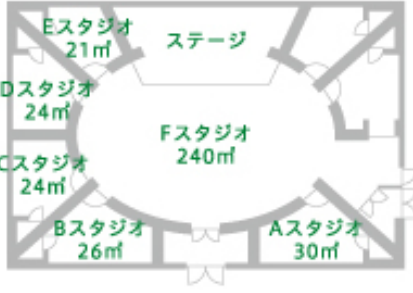


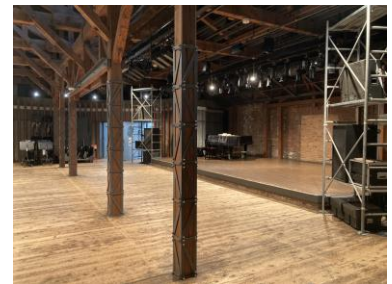
(3) オープンスペース (PIT3)

概要	屋外に水上舞台、屋内にテラスを配した誰もが自由に使える場所	【平面図】 
使用目的	休憩	
床面積	502.91 m ² 水上ステージ／6m×6m	
附属施設・設備	トイレ、掲示板、倉庫	

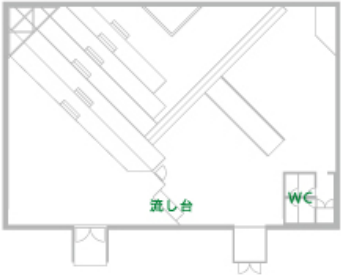


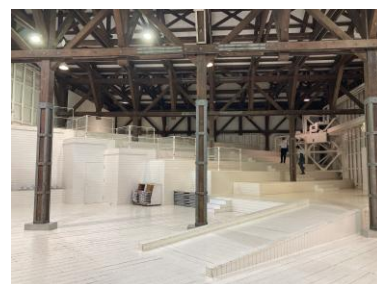
(4) ミュージック工房 (PIT4)

概要	音楽の練習や多彩な音楽活動を行うことができる場所	【平面図】 
使用目的	練習、制作、音楽研修、成果発表	
床面積	497.68 m ² (ステージ部分：60 m ²)	
附属施設・設備	<p>共通 譜面台、パイプ椅子</p> <p>A スタジオ 太鼓、鏡 (6.0m×1.8m)</p> <p>B スタジオ ドラムセット、音響機器、電子ピアノ、キーボード</p> <p>C スタジオ アップライトピアノ</p> <p>D スタジオ グランドピアノ</p> <p>E スタジオ 鏡</p> <p>F スタジオ 音響設備、照明設備、グランドピアノ</p>	



(5) アート工房 (PIT5)

概要	発表の場として、あるいは制作の場として様々な活動ができる場所	【平面図】 
使用目的	制作、展示、美術研修	
床面積	制作・展示部分／495 m ² (階段部分：182.37 m ²)	
附属施設・設備	トイレ、掲示板、流し台、イーゼル、展示台 ワイヤー、スポットライト等展示備品	

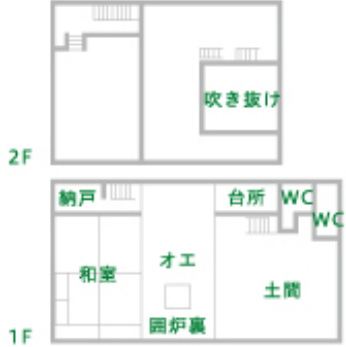


(6) レストラン

概要	食事、パーティー、会合が楽しめる場所	
使用目的	食事等	
床面積	319.88 m ² (1F：174.26 m ² 、2F：145.62 m ²)	
附属施設・設備	厨房、パントリー、ロッカー室	




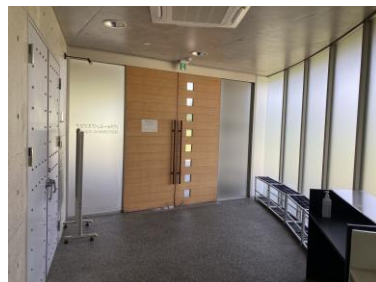
(7) 里山の家

概要	金沢市郊外の古い農家を移築した市民の多目的な文化活動に活用できる場所	【平面図】 
使用目的	展示、創作、芸術文化に関する研修・会議	
床面積	木造 2 階建 301.51 ㎡ 1 階 168.36 ㎡ / 土間、オエ (囲炉裏裏) 和室 (6、6、6、4.5 畳) 2 階 133.15 ㎡ / 書斎 52 ㎡ (30 畳) 物置 48 ㎡	
附属施設・設備	台所、トイレ、掲示板	



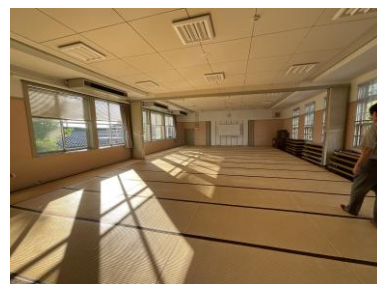
(8) パフォーミングスクエア

概要	大人数の芸術活動や個人での練習が可能な場所	【平面図】 
使用目的	練習、成果発表、制作、展示、その他文化研修	
床面積	大練習室 403.5 ㎡ 小練習室 1 31.5 ㎡ 小練習室 2 22.0 ㎡	
附属施設・設備	大練習室 グランドピアノ、照明設備、音響設備、舞台設備 (平台、箱足、幕類)、鏡、長机、椅子、譜面台、バレエバー 小練習室 長机、椅子、鏡	



(9) 事務所棟

概要	施設使用の申請等を行う事務所と会議・研修などに利用できる部屋がある建物	【平面図】
使用目的	芸術団体などの会議・研修等	
床面積	584.01 m ² (1F: 356.39 m ² 、2F: 227.62 m ²) 事務所: 59.86 m ² 、研修室: 109.31 m ² 第1会議室: 20 m ² 、第2会議室: 14 m ² 和室: 125.87 m ² (62畳)	
附属 施設・設備	トイレ	



2. 運営・管理について

金沢市民芸術村の運営・管理について、以下に掲げる3つの特色がある。

年中無休・24時間・自主管理

いつでも、だれでも、自由に利用できる施設運営

- 金沢市民芸術村は、年中無休・24時間・低料金で利用できる施設となっている。利用者は、早朝から深夜に及ぶまで、退館時間を気にすることなく、思う存分様々な創作活動に打ち込むことができる。
- 運営面では、「原状復帰」を原則に、利用者自身が責任をもって施設を使用する「自主管理方式」をとっている。これは、自由な表現活動が保証される代わりに利用者自身も責任を持つ、金沢市民芸術村独自の運営方法と言える。

市民ディレクター制度

「市民が主役」となる施設運営

- 金沢市民芸術村は、公立文化施設の中で全国初の「市民ディレクター制度」を導入している。
- 「ドラマ」「ミュージック」「アート」の3つの工房には、演劇・音楽・美術の専門家の中から、バランス感覚に優れ、ボランティア精神を有する人材を公募で各2名選出し、工房運営を任せている。
- 利用者の代表でもあるディレクターたちは、数年間の任期中、施設利用を活性化し、市民が芸術への関心を深め、身近に参加できる主催事業（アクションプラン）の企画・立案などに取り組み、「市民が主役」となる施設運営を行っている。

アクションプラン事業

市民ディレクターが企画・立案する多彩なイベント

- アクションプラン事業とは、ドラマ・ミュージック・アートの3工房の市民ディレクターが企画・立案する金沢市民芸術村の主催事業である。
- 初心者でも気軽に参加できる体験型ワークショップや、子供から大人までを対象とした多彩なイベントを展開している。
- 市民が気軽に芸術文化に触れる機会の提供、次代を担う若者への支援事業、市民への啓発事業を通して、金沢市の新しい芸術文化創造の育成に寄与することを目的に実施している。

資料-3. 各施設の利用状況、老朽化・劣化状況

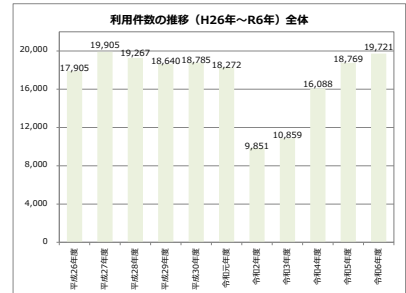
金沢市民芸術村における各施設の利用状況、イベント利用状況、老朽化・劣化状況などは、以下の通りである。

1. 棟別における利用数等の推移（平成26年度～令和6年度、11年間）

(1) 利用件数の推移

11年間における施設全体の利用件数の推移は、コロナ禍（令和2年度、3年度）に減少したものの、その後は増加傾向にある。施設別にみると、アート工房、事務所棟、オープンスペース、大和町広場以外は、平成26年度から比べて直近（令和6年度）は増加傾向にある。

利用件数の割合は、ミュージック工房の利用件数の割合が最も多い。次いで、パフォーミングスクエア、事務所棟、マルチ工房の利用件数の割合が多い。



<平成26年度～令和6年度の11年間における利用件数の施設別推移>



凡 例
■ 貸館
■ 自主事業
■ その他

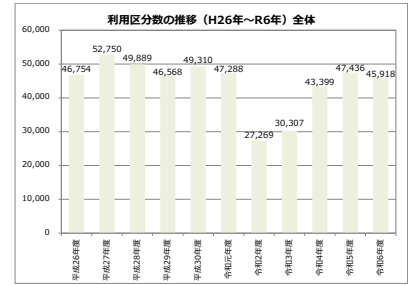
(2) 利用区分数の推移

11年間における施設全体の利用区分数の推移は、コロナ禍（令和2年度、3年度）に減少したものの、その後は増加傾向にある。施設別にみると、アート工房、パフォーミングスクエア、事務所棟は、平成26年度から比べて直近（令和6年度）は増加傾向にある。

利用区分数の割合は、ミュージック工房の利用区分数の割合が最も多い。次いで、パフォーミングスクエア、事務所棟、マルチ工房・ドラマ工房・アート工房・里山の家の利用区分数の割合が多い。

ドラマ工房とアート工房の2棟については、自主事業の比率が他の棟と比べ高い。

<平成26年度～令和6年度の11年間における利用区分数の施設別推移>



※大和町広場は利用区分数の計測が実施されていない

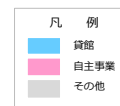
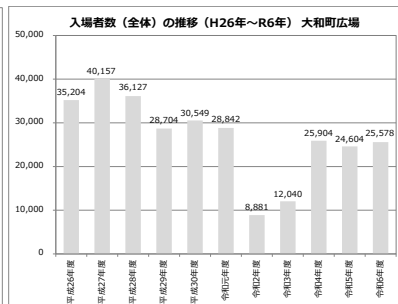
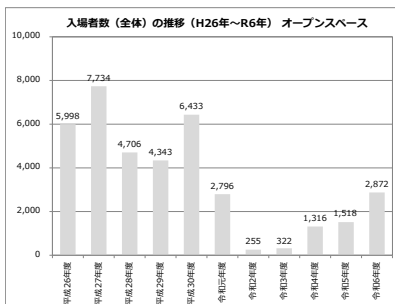
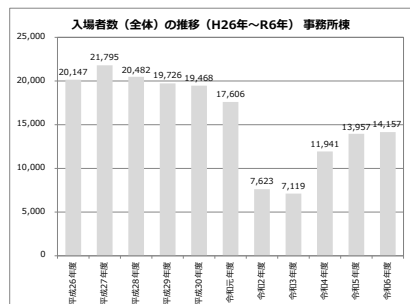
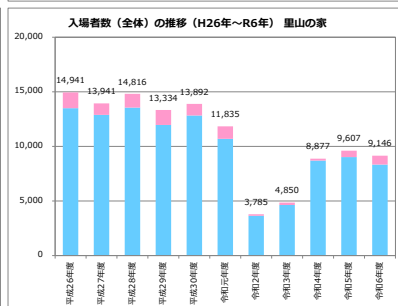
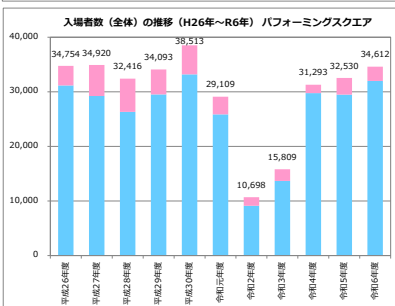
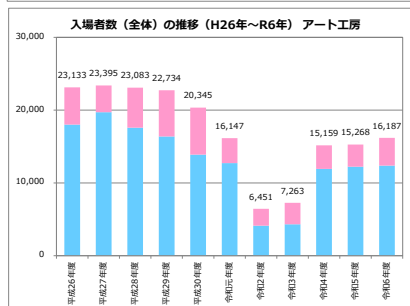
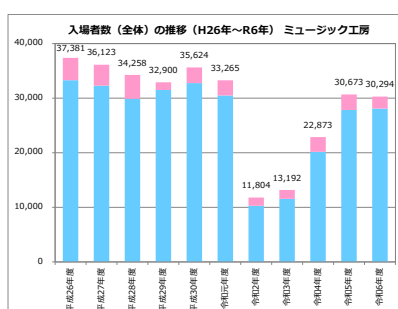
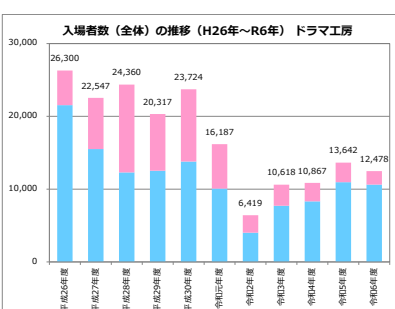
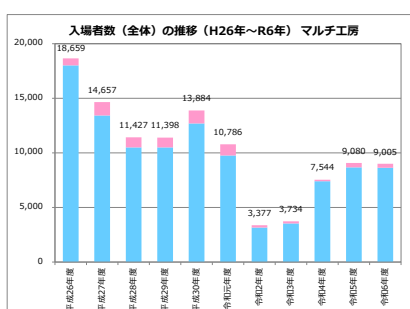
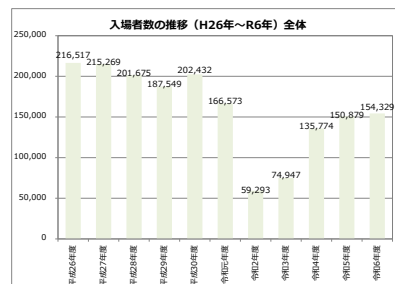
(3) 入場者数の推移

11年間における施設全体の入場者数の推移は、コロナ禍（令和2年度、3年度）に減少したものの、その後は増加傾向にある。しかし、平成26年度から比べると大きく減少している。

施設別にみると、パフォーミングスクエアは概ね横ばいで推移しているが、それ以外の施設は、平成26年度から比べて直近（令和6年度）は減少傾向にある。

入場者数の割合は、パフォーミングスクエアの入場者数の割合が最も多い。次いで、ミュージック工房、大和町広場、マルチ工房・アート工房・事務所棟の入場者数の割合が多い。

<平成26年度～令和6年度の11年間における入場者数の施設別推移>



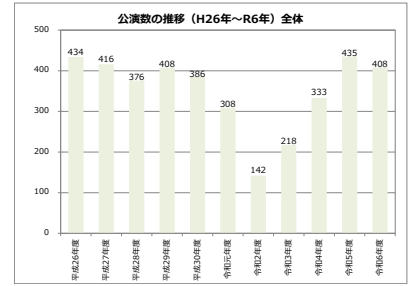
(4) 公演数の推移

11年間における施設全体の公演数の推移は、コロナ禍（令和2年度、3年度）に減少したものの、その後は増加傾向にある。

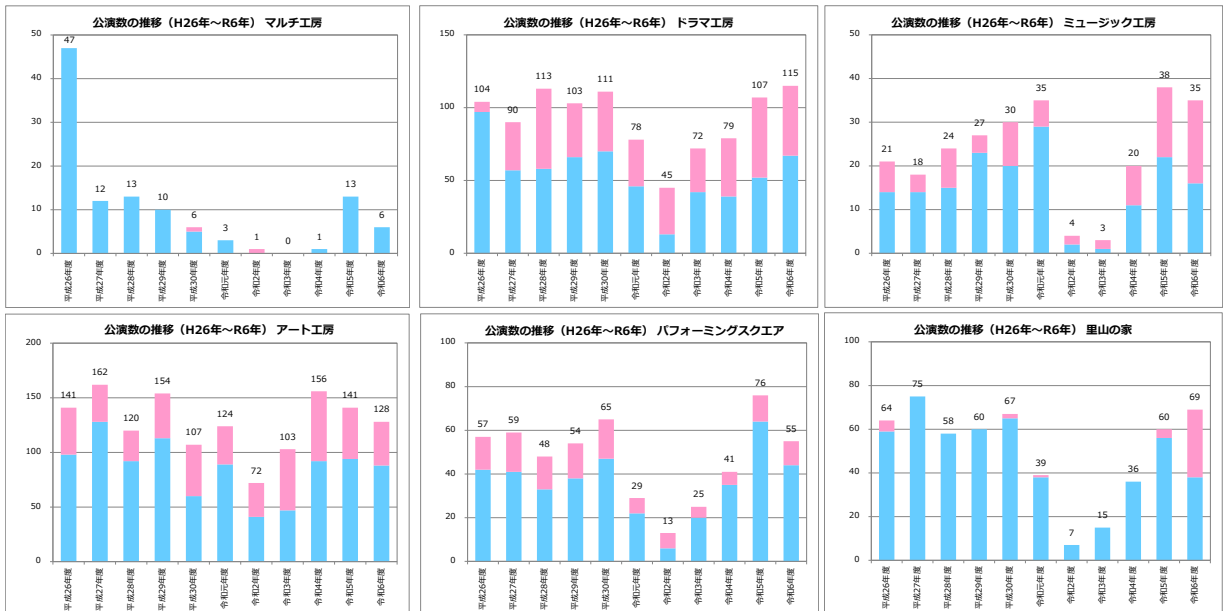
施設別にみると、平成26年度と比べマルチ工場の割合が大幅に減少している。それ以外の施設については、概ね横ばい又は増加傾向にある。

公演数の割合は、アート工場の公演数の割合が最も多い。次いで、ドラマ工房、里山の家・パフォーミングスクエアの公演数の割合が多い。

ミュージック工房と里山の家・パフォーミングスクエアの2棟については、近年、自主事業の比率が高くなっている。



<平成26年度～令和6年度の11年間における公演数の施設別推移>



※事務所棟、オープンスペース、大和町広場での公演は実施されていない



2. 貸出諸室別における施設の利用状況（令和6年度）

(1) 利用日数

各施設内における貸出諸室別の利用日数は、ミュージック工房（Dスタジオ）が最も多く360日利用されている。また、ドラマ工房（第2楽屋）の利用日数が最も少なく132日利用されている。

利用可能日からみた利用率は、全体的に高く事務所棟（研修室、第1会議室）とドラマ工房（第1楽屋、第2楽屋）を除き、9割以上利用されている。また、平日、土曜日、日・祝日における利用率をみると、土曜日、日・祝日の利用率がどの施設も高い。

<令和6年度における貸出諸室別の利用日数、利用率>

NO	施設	利用可能日 (日/年)	利用日数(日/年)							利用率	
			合計	割合	内訳(日数・利用率)						
					平日(max:247)	土曜日(max:50)	日・祝(max:68)				
1	【マルチ工房】	361	356	5.9%	239	96.8%	50	100.0%	67	98.5%	98.6%
2	【ドラマ工房】	360	337	5.6%	224	90.7%	47	94.0%	66	97.1%	93.6%
3	【第1楽屋 ドラマ工房】	360	166	2.7%	96	38.9%	30	60.0%	40	58.8%	46.1%
4	【第2楽屋 ドラマ工房】	360	132	2.2%	71	28.7%	26	52.0%	35	51.5%	36.7%
5	【Aスタジオ】ミュージック工房	361	358	5.9%	240	97.2%	50	100.0%	68	100.0%	99.2%
6	【Bスタジオ】ミュージック工房	361	354	5.8%	238	96.4%	50	100.0%	66	97.1%	98.1%
7	【Cスタジオ】ミュージック工房	361	357	5.9%	240	97.2%	50	100.0%	67	98.5%	98.9%
8	【Dスタジオ】ミュージック工房	361	360	5.9%	243	98.4%	50	100.0%	67	98.5%	99.7%
9	【Eスタジオ】ミュージック工房	361	359	5.9%	242	98.0%	50	100.0%	67	98.5%	99.4%
10	【F(中央)スタジオ】ミュージック工房	361	356	5.9%	239	96.8%	50	100.0%	67	98.5%	98.6%
11	【アート工房】	352	315	5.2%	202	81.8%	49	98.0%	64	94.1%	89.5%
12	【小練習室1】パフォーミングスクエア	356	353	5.8%	239	96.8%	48	96.0%	66	97.1%	99.2%
13	【小練習室2】パフォーミングスクエア	356	351	5.8%	237	96.0%	48	96.0%	66	97.1%	98.6%
14	【大練習室】パフォーミングスクエア	356	346	5.7%	232	93.9%	48	96.0%	66	97.1%	97.2%
15	【里山の家】	357	340	5.6%	224	90.7%	49	98.0%	67	98.5%	95.2%
16	【研修室】事務所棟	361	280	4.6%	181	73.3%	42	84.0%	57	83.8%	77.6%
17	【第1会議室】事務所棟	361	286	4.7%	185	74.9%	43	86.0%	58	85.3%	79.2%
18	【第2会議室】事務所棟	361	331	5.5%	216	87.4%	49	98.0%	66	97.1%	91.7%
19	【和室】事務所棟	361	334	5.5%	219	88.7%	50	100.0%	65	95.6%	92.5%
合計/平均		6,828	6,071	100.0%	4,007	85.4%	879	92.5%	1,185	91.7%	88.9%

(2) 利用区分数

各施設内における貸出諸室別の利用区分数からみた利用率は、ドラマ工房（68.8%）が最も高く、次いで、マルチ工房（64.3%）、アート工房（63.1%）、里山の家（57.1%）が高い。

パフォーミングスクエア、ドラマ工房（第1、2楽屋）の利用率は他施設と比べ低く、50%を切っている。

全ての施設に共通して、平日よりも土曜日、日・祝日の方が利用率は高い。土曜日はアート工房の利用率（82.5%）が最も高く、平日と日・祝日はドラマ工房の利用率（平日：57.7%、日・祝日：80.1%）が最も高い。

ミュージック工房内において、Dスタジオの利用率が最も高い。また、パフォーミングスクエアは小練習室1の利用率が最も高い。

<令和6年度における貸出諸室別の利用区分数、利用率>

NO	施設	利用可能 区分数 (区分)	利用区分数（区分）							利用率	
			合計	小計	内訳（利用区分数・利用率）			日・祝			
					平日	土曜日	日・祝				
1	【マルチ工房】	1,416	911	911	566	57.3%	147	73.5%	198	72.8%	64.3%
2	【ドラマ工房】	1,364	938	938	570	57.7%	150	75.0%	218	80.1%	68.8%
3	【第1楽屋 ドラマ工房】	1,364	546	546	315	31.9%	98	49.0%	133	48.9%	40.0%
4	【第2楽屋 ドラマ工房】	1,364	436	436	233	23.6%	87	43.5%	116	42.6%	32.0%
5	【Aスタジオ】ミュージック工房	50,133	27,443	4,308	2,624	44.3%	753	62.8%	931	57.0%	54.7%
6	【Bスタジオ】ミュージック工房			4,158	2,265	38.2%	828	69.0%	1,065	65.3%	
7	【Cスタジオ】ミュージック工房			4,979	3,141	53.0%	815	67.9%	1,023	62.7%	
8	【Dスタジオ】ミュージック工房			5,426	3,413	57.6%	853	71.1%	1,160	71.1%	
9	【Eスタジオ】ミュージック工房			5,010	3,167	53.4%	825	68.8%	1,018	62.4%	
10	【F(中央)スタジオ】ミュージック工房			3,562	1,918	32.4%	718	59.8%	926	56.7%	
11	【アート工房】	1,354	854	854	475	48.1%	165	82.5%	214	78.7%	63.1%
12	【小練習室1】パフォーミングスクエア	25,275	12,589	4,683	2,847	48.0%	788	65.7%	1,048	64.2%	49.8%
13	【小練習室2】パフォーミングスクエア			4,059	2,420	40.8%	702	58.5%	937	57.4%	
14	【大練習室】パフォーミングスクエア			3,847	2,112	35.6%	718	59.8%	1,017	62.3%	
15	【里山の家】	1,398	798	798	474	48.0%	142	71.0%	182	66.9%	57.1%
16	【研修室】事務所棟	-	2,360	479	258	26.1%	91	45.5%	130	47.8%	-
17	【第1会議室】事務所棟	-		480	283	28.6%	79	39.5%	118	43.4%	
18	【第2会議室】事務所棟	-		718	446	45.1%	121	60.5%	151	55.5%	
19	【和室】事務所棟	-		683	371	37.6%	132	66.0%	180	66.2%	
合計/平均		-	46,875	46,875	27,898	42.5%	8,212	62.6%	10,765	61.2%	-

※時間貸し施設（ミュージック工房、パフォーミングスクエア）は1時間ごとの区分、その他の施設は4つの時間帯（午前、午後、夜間、深夜）ごとの区分にて算出している。

※時間貸し施設における曜日別の利用可能区分数は、平日：5,928、土曜日：1,200、日曜日・祝日：1,632として算出している。

マルチ工房は深夜（0：00～6：00）の利用率が最も高く、それ以外の施設（ドラマ工房の第2楽屋を除く）は、午後（12：00～18：00）の利用率が最も高い。

ミュージック工房、パフォーミングスクエアは、深夜の利用率が最も低く、それ以外の施設（ドラマ工房の第1、2楽屋を除く）の利用率は、夜間（18：00～24：00）が最も低い。

<利用時間帯別における利用区分数の内訳・利用率>

NO	施設	利用時間帯別における利用区分数の内訳(件)								
		平日（利用時間帯別における利用区分数と利用率）					計			
		1.午前(max：988)	2.午後(max：988)	3.夜間(max：988)	4.深夜(max：988)					
1	【マルチ工房】	174	17.6%	152	15.4%	9	0.9%	231	23.4%	566
2	【ドラマ工房】	110	11.1%	144	14.6%	107	10.8%	209	21.2%	570
3	【第1楽屋 ドラマ工房】	71	7.2%	83	8.4%	79	8.0%	82	8.3%	315
4	【第2楽屋 ドラマ工房】	52	5.3%	61	6.2%	58	5.9%	62	6.3%	233
5	【Aスタジオ ミュージック工房】	282	28.5%	486	49.2%	525	53.1%	29	2.9%	1,322
6	【Bスタジオ ミュージック工房】	140	14.2%	268	27.1%	560	56.7%	116	11.7%	1,084
7	【Cスタジオ ミュージック工房】	443	44.8%	668	67.6%	444	44.9%	79	8.0%	1,634
8	【Dスタジオ ミュージック工房】	566	57.3%	621	62.9%	599	60.6%	53	5.4%	1,839
9	【Eスタジオ ミュージック工房】	492	49.8%	607	61.4%	444	44.9%	139	14.1%	1,682
10	【F(中央)スタジオ ミュージック工房】	145	14.7%	281	28.4%	337	34.1%	34	3.4%	797
11	【アート工房】	97	9.8%	119	12.0%	90	9.1%	169	17.1%	475
12	【小練習室1】パフォーミングスクエア	278	28.1%	445	45.0%	441	44.6%	187	18.9%	1,351
13	【小練習室2】パフォーミングスクエア	235	23.8%	473	47.9%	471	47.7%	9	0.9%	1,188
14	【大練習室】パフォーミングスクエア	139	14.1%	284	28.7%	297	30.1%	16	1.6%	736
15	【里山の家】	91	9.2%	172	17.4%	37	3.7%	174	17.6%	474
16	【研修室】事務所棟	27	2.7%	68	6.9%	6	0.6%	157	15.9%	258
17	【第1会議室】事務所棟	47	4.8%	80	8.1%	2	0.2%	154	15.6%	283
18	【第2会議室】事務所棟	122	12.3%	162	16.4%	3	0.3%	159	16.1%	446
19	【和室】事務所棟	64	6.5%	115	11.6%	27	2.7%	165	16.7%	371
合計/平均		3,575	19.0%	5,289	28.2%	4,536	24.2%	2,224	11.8%	15,624

NO	施設	利用時間帯別における利用区分数の内訳(件)																	
		土曜日（利用時間帯別における利用区分数と利用率）					日・祝（利用時間帯別における利用区分数と利用率）												
		1.午前(max：200)	2.午後(max：200)	3.夜間(max：200)	4.深夜(max：200)	計	1.午前(max：272)	2.午後(max：272)	3.夜間(max：272)	4.深夜(max：272)	計								
1	【マルチ工房】	49	24.5%	44	22.0%	7	3.5%	47	23.5%	147	62	22.8%	65	23.9%	9	3.3%	62	22.8%	198
2	【ドラマ工房】	34	17.0%	46	23.0%	28	14.0%	42	21.0%	150	57	21.0%	64	23.5%	43	15.8%	54	19.9%	218
3	【第1楽屋 ドラマ工房】	28	14.0%	26	13.0%	23	11.5%	21	10.5%	98	36	13.2%	39	14.3%	27	9.9%	31	11.4%	133
4	【第2楽屋 ドラマ工房】	25	12.5%	23	11.5%	22	11.0%	17	8.5%	87	32	11.8%	32	11.8%	23	8.5%	29	10.7%	116
5	【Aスタジオ ミュージック工房】	98	49.0%	70	35.0%	91	45.5%	16	8.0%	275	132	48.5%	166	61.0%	89	32.7%	20	7.4%	407
6	【Bスタジオ ミュージック工房】	99	49.5%	67	33.5%	95	47.5%	38	19.0%	299	144	52.9%	160	58.8%	133	48.9%	47	17.3%	484
7	【Cスタジオ ミュージック工房】	115	57.5%	68	34.0%	64	32.0%	23	11.5%	270	160	58.8%	168	61.8%	114	41.9%	30	11.0%	472
8	【Dスタジオ ミュージック工房】	124	62.0%	68	34.0%	77	38.5%	41	20.5%	310	175	64.3%	182	66.9%	120	44.1%	53	19.5%	530
9	【Eスタジオ ミュージック工房】	109	54.5%	68	34.0%	83	41.5%	40	20.0%	300	158	58.1%	153	56.3%	76	27.9%	44	16.2%	431
10	【F(中央)スタジオ ミュージック工房】	75	37.5%	56	28.0%	61	30.5%	13	6.5%	205	98	36.0%	114	41.9%	118	43.4%	21	7.7%	351
11	【アート工房】	41	20.5%	47	23.5%	38	19.0%	39	19.5%	165	53	19.5%	63	23.2%	40	14.7%	58	21.3%	214
12	【小練習室1】パフォーミングスクエア	83	41.5%	113	56.5%	74	37.0%	30	15.0%	300	113	41.5%	126	46.3%	103	37.9%	37	13.6%	379
13	【小練習室2】パフォーミングスクエア	72	36.0%	110	55.0%	75	37.5%	8	4.0%	265	100	36.8%	135	49.6%	98	36.0%	15	5.5%	348
14	【大練習室】パフォーミングスクエア	56	28.0%	70	35.0%	59	29.5%	11	5.5%	196	88	32.4%	103	37.9%	84	30.9%	24	8.8%	299
15	【里山の家】	44	22.0%	49	24.5%	8	4.0%	41	20.5%	142	55	20.2%	65	23.9%	11	4.0%	51	18.8%	182
16	【研修室】事務所棟	22	11.0%	36	18.0%	13	6.5%	20	10.0%	91	34	12.5%	51	18.8%	18	6.6%	27	9.9%	130
17	【第1会議室】事務所棟	22	11.0%	35	17.5%	5	2.5%	17	8.5%	79	40	14.7%	42	15.4%	3	1.1%	33	12.1%	118
18	【第2会議室】事務所棟	49	24.5%	43	21.5%	2	1.0%	27	13.5%	121	45	16.5%	60	22.1%	3	1.1%	43	15.8%	151
19	【和室】事務所棟	44	22.0%	50	25.0%	2	1.0%	36	18.0%	132	56	20.6%	62	22.8%	4	1.5%	58	21.3%	180
合計/平均		1,189	31.3%	1,089	28.7%	827	21.8%	527	13.9%	3,632	1,638	31.7%	1,850	35.8%	1,116	21.6%	737	14.3%	5,341

※各区分の時間帯は、1. 午前（6：00～12：00）、2. 午後（12：00～18：00）、3. 夜間（18：00～24：00）、4. 深夜（0：00～6：00）である。

※時間貸し施設は、4つの使用時間帯に振り分けて作成している。

(3) 使用している利用登録者数、催事区分、入場者数、使用内容・目的

使用している利用者登録者数について、ドラマ工房（第1楽屋、第2楽屋）と事務所棟（研修室、和室）は団体の利用が多い。それ以外の施設は個人の利用が多い。

特に、ミュージック工房、パフォーミングスクエア（小練習室1、2）、事務所棟（第2会議室）は約7割以上が個人利用であり、他施設と比べ個人の利用率が高い。

催事利用としては、ドラマ工房（第1、2楽屋）とアート工房を除き、練習利用が約9割以上と多い。ドラマ工房とアート工房は概ね催事利用と練習利用が半々の利用状況である。

入場者数は、パフォーミングスクエア（大練習室）の人数が最も多く、次いで、アート工房、ミュージック工房（F（中央）スタジオ）が多い。

各工房は概ねその利用形態にあった使用目的が多く、マルチ工房とパフォーミングスクエアはダンス練習、パフォーミングスクエアと里山の家、事務所棟は音楽練習や演劇練習の使用目的が多い。

<令和6年度における貸出諸室別の使用している利用登録者数、催事区分、入場者数、使用内容・目的>

NO	施設	使用している利用登録者数							
		合計	割合	内訳					
				個人	団体（10名以上）	公的機関・学校			
1	【マルチ工房】	133	3.9%	76	57.1%	47	35.3%	10	7.5%
2	【ドラマ工房】	70	2.0%	32	45.7%	28	40.0%	10	14.3%
3	【第1楽屋 ドラマ工房】	27	0.8%	7	25.9%	14	51.9%	6	22.2%
4	【第2楽屋 ドラマ工房】	22	0.6%	4	18.2%	12	54.5%	6	27.3%
5	【Aスタジオ】ミュージック工房	296	8.7%	260	87.8%	24	8.1%	12	4.1%
6	【Bスタジオ】ミュージック工房	306	9.0%	271	88.6%	22	7.2%	13	4.2%
7	【Cスタジオ】ミュージック工房	323	9.4%	292	90.4%	21	6.5%	10	3.1%
8	【Dスタジオ】ミュージック工房	325	9.5%	302	92.9%	14	4.3%	9	2.8%
9	【Eスタジオ】ミュージック工房	268	7.8%	230	85.8%	25	9.3%	13	4.9%
10	【F(中央)スタジオ】ミュージック工房	261	7.6%	193	73.9%	52	19.9%	16	6.1%
11	【アート工房】	79	2.3%	38	48.1%	32	40.5%	9	11.4%
12	【小練習室1】パフォーミングスクエア	283	8.3%	227	80.2%	37	13.1%	19	6.7%
13	【小練習室2】パフォーミングスクエア	309	9.0%	253	81.9%	37	12.0%	19	6.1%
14	【大練習室】パフォーミングスクエア	198	5.8%	107	54.0%	63	31.8%	28	14.1%
15	【里山の家】	125	3.7%	60	48.0%	54	43.2%	11	8.8%
16	【研修室】事務所棟	93	2.7%	27	29.0%	54	58.1%	12	12.9%
17	【第1会議室】事務所棟	96	2.8%	46	47.9%	40	41.7%	10	10.4%
18	【第2会議室】事務所棟	101	3.0%	72	71.3%	22	21.8%	7	6.9%
19	【和室】事務所棟	103	3.0%	46	44.7%	49	47.6%	8	7.8%
合計/平均		3,418	100.0%	2,543	74.4%	647	18.9%	228	6.7%

NO	施設	催事区分割合		入場者数(人)		使用内容 (回数の多いもの)	使用目的 (回数の多いもの)
		催事利用	練習利用	合計	割合		
1	【マルチ工房】	5.1%	94.9%	9,003	7.0%	フラメンコ	ダンス練習
2	【ドラマ工房】	49.8%	50.2%	12,478	9.7%	演劇の稽古	演劇練習
3	【第1楽屋 ドラマ工房】	92.1%	7.9%	1,536	1.2%	演劇公演	控室
4	【第2楽屋 ドラマ工房】	96.4%	3.6%	1,046	0.8%	演劇公演	控室
5	【Aスタジオ】ミュージック工房	3.0%	97.0%	3,212	2.5%	和太鼓練習	和太鼓練習
6	【Bスタジオ】ミュージック工房	2.6%	97.4%	4,577	3.6%	ドラム練習	ドラム練習（スネア持ち込み）
7	【Cスタジオ】ミュージック工房	1.7%	98.3%	2,429	1.9%	ホルン	音楽練習：アンプなし
8	【Dスタジオ】ミュージック工房	1.4%	98.6%	2,802	2.2%	ピアノの練習	ピアノ練習
9	【Eスタジオ】ミュージック工房	1.6%	98.4%	2,631	2.0%	トロンボーン練習	音楽練習：アンプなし
10	【F(中央)スタジオ】ミュージック工房	5.6%	94.4%	14,643	11.4%	吹奏楽練習	音楽練習：アンプなし
11	【アート工房】	52.3%	47.7%	16,187	12.6%	作品展	展覧会
12	【小練習室1】パフォーミングスクエア	3.8%	96.2%	3,222	2.5%	ダンス練習	ダンス練習
13	【小練習室2】パフォーミングスクエア	4.6%	95.4%	2,512	2.0%	トランペット練習	音楽練習：アンプなし
14	【大練習室】パフォーミングスクエア	10.7%	89.3%	28,878	22.5%	太鼓練習	音楽練習：アンプなし
15	【里山の家】	17.8%	82.2%	9,146	7.1%	演劇の稽古	演劇練習
16	【研修室】事務所棟	15.0%	85.0%	4,220	3.3%	演劇の稽古	演劇練習
17	【第1会議室】事務所棟	8.3%	91.7%	1,996	1.6%	演劇の稽古	演劇練習
18	【第2会議室】事務所棟	2.6%	97.4%	1,445	1.1%	二胡	音楽練習：アンプなし
19	【和室】事務所棟	6.7%	93.3%	6,496	5.1%	二胡	音楽練習：アンプなし
合計/平均		-	-	128,459	100.0%	-	-

3. 各施設の老朽化・劣化状況

各施設の老朽化・劣化状況は以下の通りである。

各施設の諸室（内部）において、天井・壁、床などの仕上げ面に塗装剥がれや錆び・クラック、経年劣化などの跡が散見している。また、外部も同様に経年劣化や汚れなどがみられ、各施設に要修復箇所が多く存在する。

<老朽化・劣化状況の一覧表>

No.	施設	該当場所	諸室名	劣化内容	
1	マルチ工房	内部	作業場	臥梁にクラック、床にドア引きずり跡 床板きしみ・浮き・塗装劣化 排煙窓開かない(西側13枚)(東側10枚)、柱型レガ 割れ6mm	
			作業場・風除室 風除室 男子WC	ドア丁番変形 スチール廻り塗装劣化 天井腐食音あり	
		外部	西側、東側	板金腐食	スチール廻り塗装劣化
			西側		
2	ドラマ工房	内部	1階 演劇練習場(北西)(中央)(東)、可動間仕切収納	床板腐食白アリ	
			1階 演劇練習場	床全体：塗装剥がれ	
			1階 個室3(控室)、個室4(控室)	床塗装剥がれ	
		外部	2階 天井	上部雨漏りあり	
			2階外部階段	外部階段・手摺：サビあり	
			西側	鉄骨階段・手摺：鉄骨部のサビ、シート防水劣化	
3	オープンスペース	内部	1階 通路	木床：腐食白アリ、レンガ白華	
			1階 休憩スペース	木床：腐食劣化、柱：銅板巻外れ、飛散防止フィルム割がれ	
			1階 段状休憩スペース	ベニヤ塗装剥がれ	
			1階 ポーチ	鉄骨：柱梁サビ	
		外部	2階	段汚れ、上部梁金物ズレ、床：クラック、排煙窓	
			外壁	鉄骨：柱梁サビ・塗装劣化、シーリング劣化、レンガ：汚れ	
4	ミュージック工房	内部	練習室1(Aスタジオ)	天井：くぼみあり	
			練習室1(Aスタジオ)、事務室	壁：塗装剥がれ	
			練習室1(Aスタジオ)、練習室2(Bスタジオ)	レンガ壁：クラックあり	
			練習室1(Aスタジオ)、練習室2(Bスタジオ)、練習室3(Cスタジオ)、練習室4(Dスタジオ)、練習室5(Eスタジオ)	建具：塗装剥がれ	
			音楽練習場(Fスタジオ)	壁：補修跡、レンガ壁：白華	
			練習室1(Aスタジオ)、練習室2(Bスタジオ)、練習室3(Cスタジオ)	トップライト排煙窓：フィルム劣化	
			練習室4(Dスタジオ)、練習室5(Eスタジオ)、音楽練習場(Fスタジオ)	床板：塗装剥がれ	
		事務室	天井：浸み跡あり、床板：割れあり		
		外部	東側、西側	屋根板金錆	
			東側	レンガ：白華	
5	アート工房	内部	1階 作業場	床全体：塗装剥がれ	
			1階 倉庫	床土間コンひび割れ	
			1階 作業場	スロープ：笠木隙間あり、排煙オペレーター作動しない	
		外部	2階	排煙トップライトフィルム割がれ、雨漏り跡あり柱梁腐食	
			西側、北側、東側	レンガ：汚れ、鉄骨：塗装劣化	
			西側、東側	樋：塗装劣化	
6	レストラン	内部	1階 WC	換気扇異音あり	
			1階 屋外	屋外スポットライト破損及び光束過多	
			1階 風除室(南西)	天井：ボンド割がれ	
			1階 レストラン・風除室(南西)	建具枠：ゴムパッキンはずれ	
			1階 厨房	木柱：足元汚れ	
			1階 レストラン	床：木塗装剥がれ	
7	里山の家	内部	1階 風除室(北西)	スチール廻り塗装劣化	
			2階 パントリー	定温式スポット型感知器なし	
			2階 吹抜け	トップライト結露又は雨漏り	
			2階 レストラン	排煙窓開閉不可 網入りガラスに割れ	
			外部	西側、東側	板金腐食
				西側、外部デッキ、1階 厨房の外(北西)	鉄骨・デッキ：塗装劣化
8	パフォーマンススクエア	内部	1階 広間	製建具：建付け、劣化	
			1階 広縁	壁：雨漏れ跡	
			1階 座敷1、座敷2	壁：クロス剥がれ	
			1階 台所	ガス漏れ検知器期限切れ	
			1階 土間ホールの外	壁：下見板反り、木柱：ズレ	
		外部	2階 物置	面戸に隙間あり	
			2階 書斎	梁の劣化あり、隙間あり	
			2階 踊場2	壁の隙間あり	
			2階 書斎外部	木製建具：劣化	
			1階 練習場	床全体：フローリング塗装剥がれ	
9	管理棟・機械室棟	内部	1階 倉庫1	壁ボンド割れ、扉塗装剥がれ	
			1階 ピアノ庫	床クラック	
			1階 エントランス	天井汚れ	
			1階 エントランス	床キズ、壁ボンド、オペレーター破損	
			1階 エントランス(一部内部もあり)	結露あり	
			1階 エントランス	建具汚れ	
外部	1階 エントランス	SUS壁種サビ、鉄骨柱腐食、水切ガルバ腐食、凹み			
	屋外	屋外キュービクル発錆内部機器不具合			
	1階 警備室	換気扇異音あり			
	1階 発電機室	ガス配管発錆			
	1階 女子シャワー室	天井腐食音あり			
	1階 風除室(南東)(北西)	床：右張りクラック			
9	管理棟・機械室棟	内部	1階 研修室	窓台：反りずれ、柱：仕上モルタル割れ、壁上部ボンド割れ	
			1階 第1会議室	腰壁：合板割がれ、目地棒、壁：剥がれ、天井：クラック	
			1階 廊下	天井：朝露隙間、板隙間、床：長尺シート割がれ	
			女子シャワー室・手洗い	壁：クラック	
			事務室入口の外	鉄骨柱：腐食	
			2階 ホール、和室、ドラマ工房スタッフ室、第2会議室	壁・天井：クラック	
		外部	物置	天井：雨漏り	
			東側、北側側	鉄骨柱：腐食	
			南側	鉄骨(柱)・破風：塗装劣化、木製ガラリ：劣化	

資料-4. 市民、管理者、市民ディレクターからの要望・課題

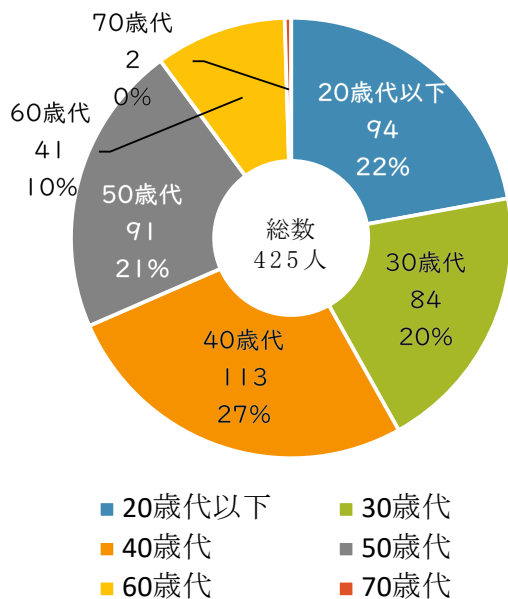
市民、管理者、市民ディレクターからの要望・課題などは以下の通りである。

1. 市民からの要望・課題

(1) 市民アンケート結果

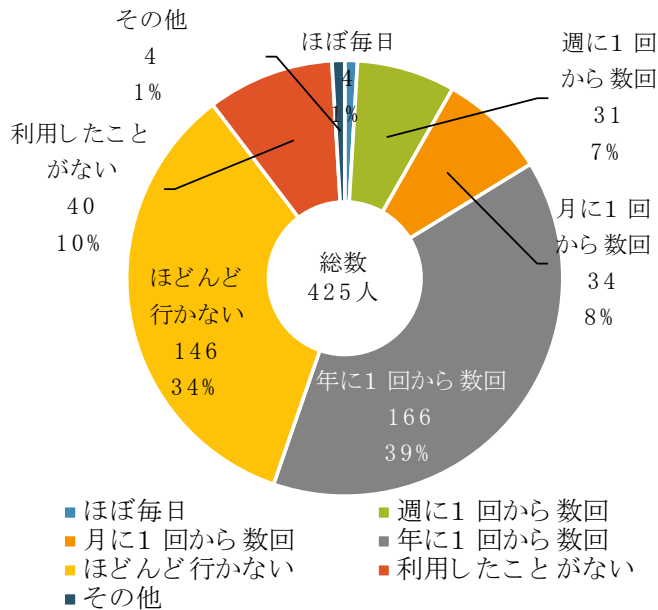
① 回答者の属性（年齢）

・概ね多様な世代より偏りなく回答。



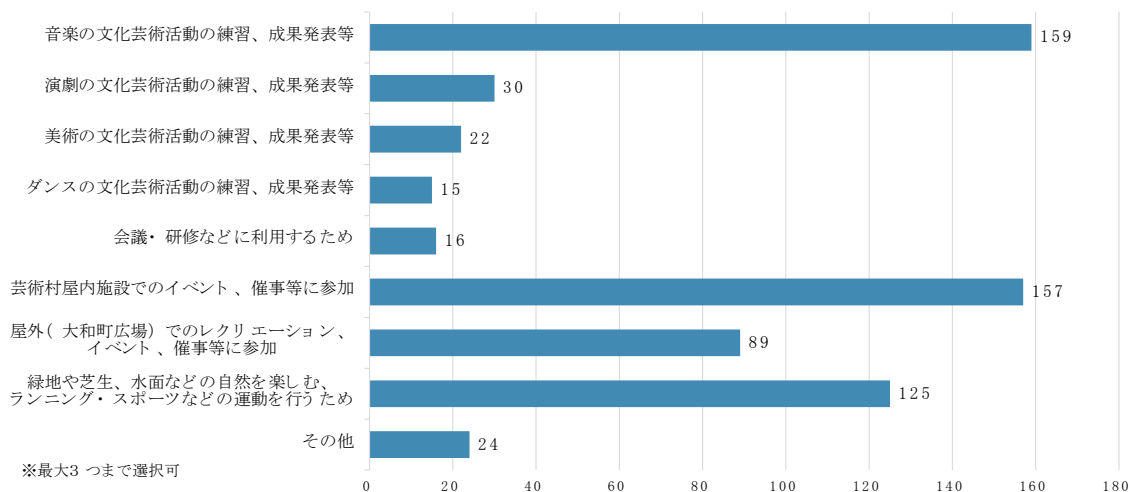
②-1 現在の利用状況（利用頻度）

・「年に1回から数回程度」が約4割と最も高く、次いで「ほとんどいかない」が高い。



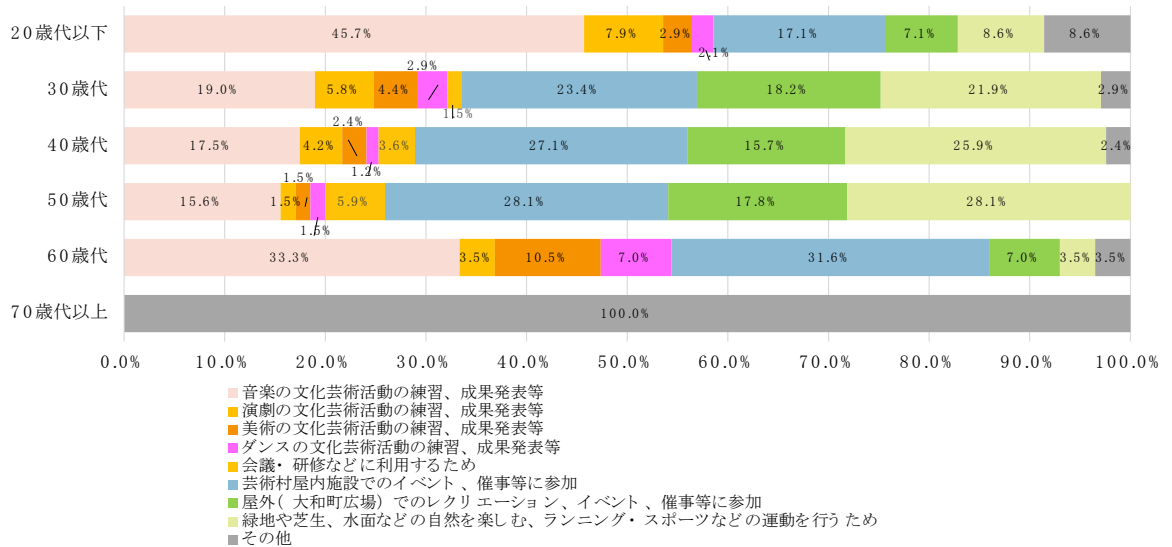
②-2 現在の利用状況（主な利用目的）

・「音楽の文化芸術活動の練習、成果発表等」が最も高く、次いで「芸術村屋内施設でのイベント、催事に参加」が高い。



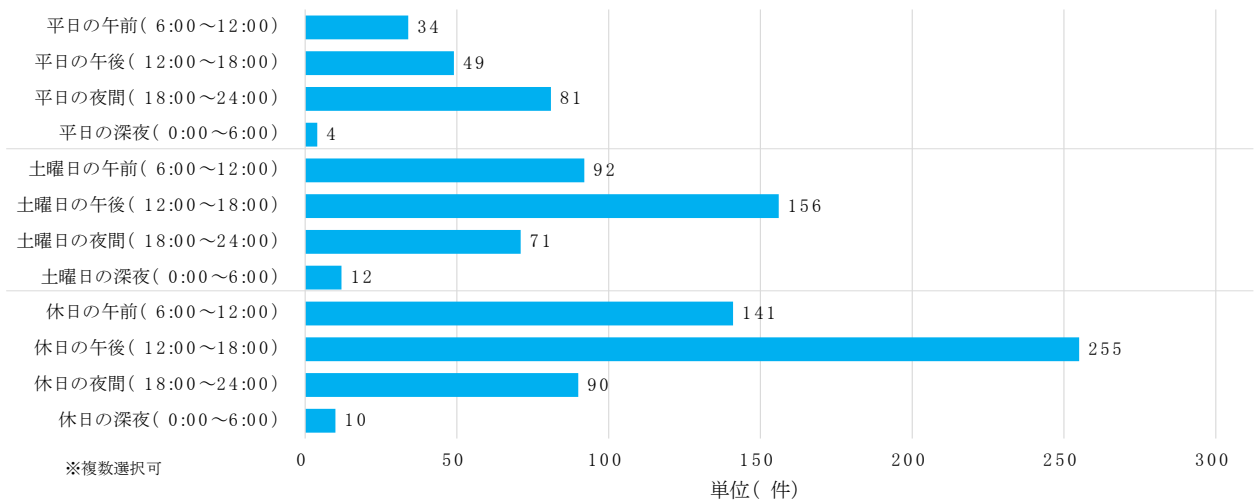
②-3 現在の利用状況（主な利用目的×年齢）

- ・20歳代以下と60歳代では「音楽の文化芸術活動の練習、成果発表等」が最も高く、30～50歳代は「芸術村屋内施設でのイベント、催事等に参加」が最も多いが、概ね全項目とも同じ傾向。



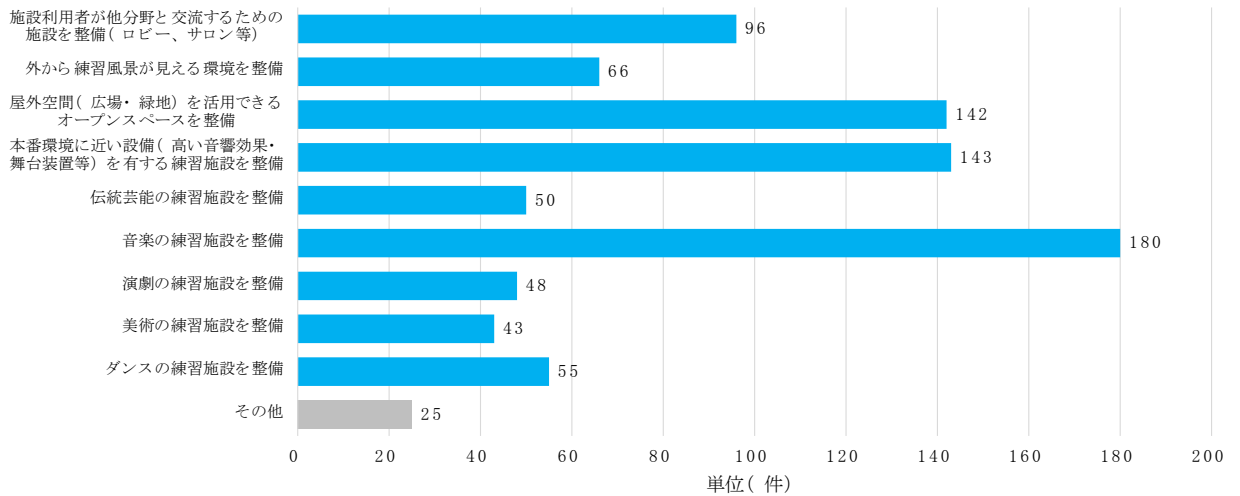
②-4 現在の利用状況（主な利用日・時間帯）

- ・平日は夜間（18～24時）の利用者が最も多い。
- ・土曜日、日曜日は午後（12～18時）の利用者が最も多い。
- ・全項目を通して、深夜（0時～6時）の利用者が最も少ない。



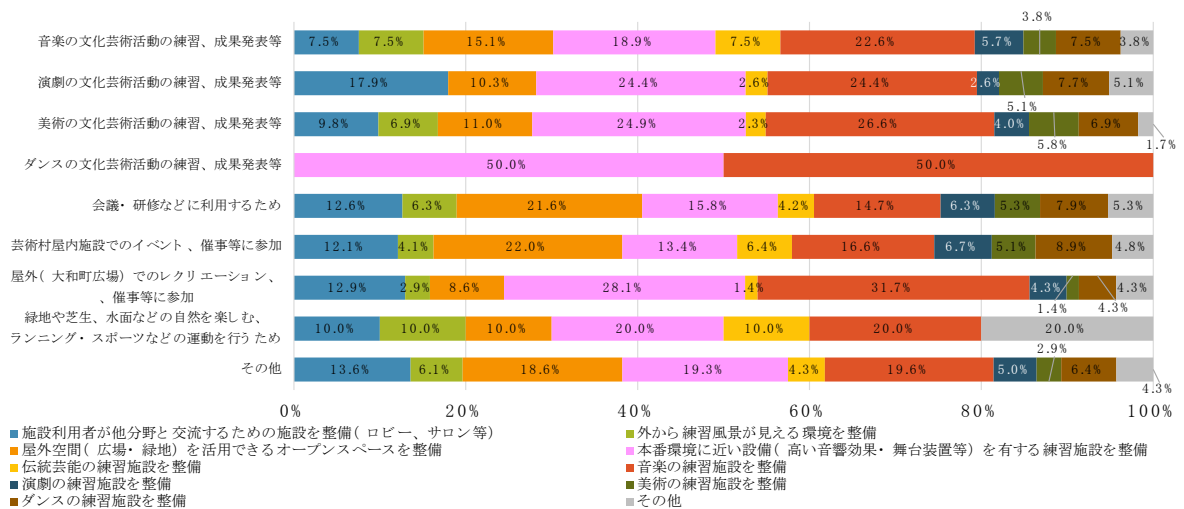
③-1 リニューアル整備に期待すること

- ・「練習施設を整備」が最も多く（全分野計 376 件）、次いで、「本番環境に近い設備」、「屋外環境を活用できるオープンスペースを設備」が多い。



③-2 利用目的×リニューアル整備に期待すること

- ・音楽施設の利用者以外からも「音楽の練習施設を整備」に期待する回答が多い。
- ・同様に「本番環境に近い設備を有する練習施設」「他分野と交流するための施設」が分野を問わず回答が多い。



④ その他意見(上位3項目)

- ・ハード整備について練習場所の追加、メンテナンスや保管場所の追加に対する意見が多い。

No	項目	件数
1	施設の利用について(料金、利用時間・運用の継続、マナーやルールの徹底等)	10
2	練習場所の追加	8
3	設備・楽器・環境(メンテナンスや保管場所の追加)	8

2. 指定管理者からの要望・課題

(1) 施設について

①音楽練習室の増設

- ・音楽利用者が多く、ミュージック工房以外の施設も使用しているが、それでも不足している。

②ダンス練習施設の増設

- ・オープン当初はそこまでの利用は見込んでいなかったと考えられるが、近年使用者が多い。ダンス練習は、マルチ工房・パフォーミングスクエアしか使用できず、慢性的に練習場所が不足している。

(2) 駐車場について

①駐車場利用の適正化に向けた対策

- ・駐車場は計7箇所(446台分)あるが、施設利用者以外の駐車(通勤・通学・休憩・乗り合わせ等)が度々見られる。イベントが重なる日や、積雪のため駐車スペースが少なくなった場合に、施設の利用者が駐車できない。また、目的外利用の車が出入りすることにより、敷地内での事故の危険性も高まっている。

(3) バリアフリー化について

①障害者等用駐車場から施設及び多目的トイレへの車椅子による移動を可能にするための処置

- ・駐車場から施設へ移動するための道が砂利道であり、施設内に段差があるため、車いすでの移動が難しい。

②オープンスペース入口等のスロープを緩やかなものにする

- ・古い建物を活かしてリニューアルした施設のため、バリアフリーに対応していない。特に足の不自由な方にとっては、施設内での移動は非常に困難である。

(4) その他

①管理者使用スペースの充足

- ・敷地内に、管理者が多目的に使える場所が不足しており、備品の保管や清掃員控室等には、貸し出し施設の一角を利用するしかないため、不便が生じている。
- ・敷地内に多目的に使える建物を新たに建て、備品を収納する倉庫や清掃員控室等に利用したい。また、増設する施設機能と一体的な利用が可能なものとして欲しい。

3. 市民ディレクターからの要望・課題

(1) 施設について

①工房の増設

- ・全体的に工房が足りていないため増設して欲しい。

②ダンス練習施設の増設

- ・ダンスで使用したいが、使える場所が少ない。

③既存工房における設備更新、建具の修繕

- ・空調の音がうるさい（ドラマ工房、アート工房）。
- ・入口扉の修繕、Wi-Fi 対応、消火器・AED の設置位置の再検討（ドラマ工房利用者で衣装を着ている時、移動できないことがある）。

④管理棟における一般貸出の中止

- ・管理棟の利用者の入口が分かりづらく、セキュリティ上も良くない位置であるため、管理棟は一般に貸すことは避けたい。

⑤和室の増設

- ・管理棟の2階和室は裸足で利用でき、様々な用途で使用できるため、和室同等のスペースは必要である。

⑥オープンスペースの快適性向上（環境整備）

- ・オープンスペースの空間について、冬は寒く、夏は暑いため対策が必要である。また、ドラマ工房に入るためのもぎりスペースにも空調が欲しい。

⑦音楽の練習スタジオ、団体使用できるスタジオの増設

- ・ミュージック工房のスタジオの数が足りない。また、団体で使用できるスタジオが足りない。

⑧アート工房の搬入路確保、車椅子利用への対応、空間のよさを維持した安全性の確保（環境整備）

- ・搬入口の拡大、搬入ルートを確保して欲しい。
- ・階段状の空間は残してほしいが、車椅子の方が2階まで上がれるようにしたい。
- ・スロープ、階段の手すりがなく現状は危険であるが、空間のよさを維持するため常設で手すりは設置したくない。

⑨里山の家の実便性向上（環境整備）

- ・水栓が高く利用しづらい。

(2) 外構整備について

①パフォーミングスクエアに近接した位置に障害者等用駐車場を新設

②車椅子や搬入出の台車がスムーズに通行できる通路整備

- ・外構の舗装に凸凹があり、車椅子や台車が通りにくい。

③駐車場利用の適正化に向けた対策

- ・施設を利用しない方の違法駐車が多い。

④P2 側（東口側駐車場）に駐輪場を新設

資料-5. 主な現況・要望の整理（一覧表）

1. 現状と課題

本編、前述した内容等を踏まえ、金沢市民芸術村における主な現況・要望を整理する。

既存施設に係る現況・要望

- ・次世代に継承していくため、施設のリニューアル。㊤
- ・既存施設は様々な賞を受賞しており、その価値を評価されている。㊦
- ・西側、北側、北東側は、マンション・アパートや民家などに隣接している。東側は鉄道に隣接している。敷地内の一部は防災広場用地に指定されている。㊨㊩
- ・各施設の内・外部は、経年劣化や汚れ等の跡が散見しており要修復箇所が多く存在する。㊰
- ・施設全体の利用件数・区分数、公演数は、コロナ禍（令和2、3年度）に大きく減少したが、その後は増加傾向にあり、直近（令和6年度）はコロナ禍前と横ばい又は多い。㊰
- ・直近年の利用率（日数）は全体的に高く、約9割（平均）利用されている。㊰
- ・殆どの施設は午後（12～18時）の利用率が高く、夜間（18～24時）が低い。㊰
- ・平日は夜間、土・日は午後の利用者が多い。全日で深夜（0～6時）の利用者が少ない。㊱
- ・殆どの施設の入場者数の推移は減少傾向にあり、個人の利用、練習利用が多い。㊰
- ・直近年の施設の使用目的は、各工房の名称にあった使用であり多いが、マルチ工房やパフォーミングスクエア等はダンス練習、事務所棟等は音楽練習や演劇練習の使用が多い。㊰
- ・約8割の人が「年に1～数回以下」と回答しており、施設の利用頻度は低い。㊱
- ・主な利用目的として、「音楽の文化芸術活動の練習、成果発表等」が最も高く、次いで「芸術村屋内施設でのイベント、催事に参加」が高い。㊱
- ・駐車場からの園路やオープンスペース入口等のバリアフリー経路の確保。㊲
- ・パフォーミングスクエアに近接した位置に身体障がい者駐車場を新設。㊲
- ・車椅子や搬入出の台車がスムーズに通行できる通路整備。㊲
- ・既存工房の設備更新、建具の修繕、管理棟における一般貸出の中止。㊲
- ・施設の快適・利便性向上、搬入路確保、車椅子利用対応、空間のよさを維持した安全性確保。㊲

新たな機能・整備に係る現況・要望

- ・身近に文化芸術に触れる機会の充実、子どもが気軽に文化芸術を体験できる機会の提供。㊤
- ・ダンス人口の増加。中学校文化部活動の地域展開。㊦
- ・リニューアル整備に期待する声は、「練習施設を整備」が最も多く、次いで、「本番環境に近い設備」、「屋外環境を活用できるオープンスペースを設備」が多い。また、音楽施設の利用者以外からも「音楽の練習施設を整備」に期待する回答が多く、同様に「本番環境に近い設備を有する練習施設」「他分野と交流するための施設」が分野を問わず回答が多い。㊱
- ・その他意見として練習場所の追加、メンテナンスや保管場所の追加に対する意見が多い。㊱
- ・音楽練習室、ダンス練習室の増設。管理者使用スペースの充足。㊲
- ・工房、ダンス練習室。和室、音楽の練習スタジオ、団体使用できるスタジオの増設。㊲

※㊤：上位計画、㊦：沿革、㊨：周辺環境、㊩：法規制、㊰：取り巻く環境の変化、㊱：現況、㊲：指定管理者の要望、㊳：市民ディレクターの要望、㊴：市民アンケート

金沢市民芸術村リニューアル基本構想(案)

発行年月 令和8年(2026年)2月

発行 金沢市民芸術村リニューアル基本構想検討委員会

編集 金沢市文化スポーツ局文化政策課

〒920-8577 石川県金沢市広坂1丁目1番1号

TEL : 076-220-2442 FAX : 076-220-2069

